

783  
18



0000806-000

783-18

火線上の欧洲

朝日新聞社・編

朝日新聞社

昭14

AAB



783  
18

# 火線上の歐洲

世界危機の解剖

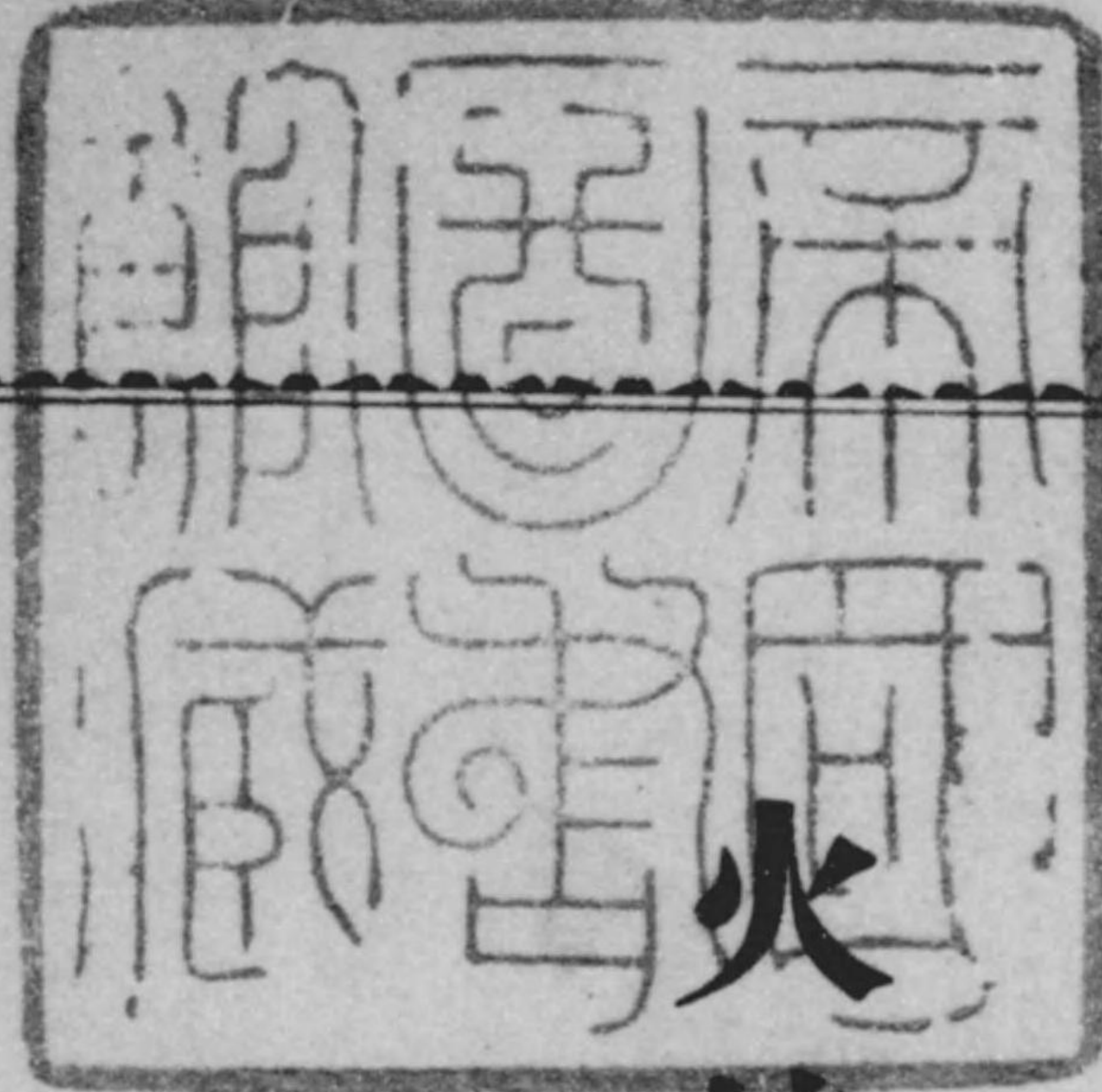
朝日新聞社發行



納本

523





朝日新聞社編

火線  
上の歐洲

『世界危機の解剖』

朝日新聞社發行





前  
が  
り

歐洲には今、平和の女神に代つて焰と劍を持つ戦争の神々が君臨せんとしてゐる。獨伊樞軸對英佛陣營の對立抗争は、チエツコを解體しメーメルを奪還しアルバニヤを征服した獨伊兩國の端倪すべからざる進出飛躍によつて急角度に危機線上へ驅り立てられた。さうした形勢のさなかに、アメリカ大統領から獨伊に宛て、平和保障要請のメツセージが發せられ、これに對する回答聲明が世界注視の裡になされた。然しそれによつて歐洲の危機はいさゝかも緩和されぬのみか、その後も獨伊兩國の共同作戰行動はますます緊密を加へて來た。四月廿八日ドイツ國會において行はれたヒットラー總統の獅子吼は實に烈々たるナチス國是の世界的宣言である。彼は「ドイツを侵略國呼ばはりする民主主義國家こそ歐洲平和の破壊者である」としてヴェルサイユ體制の許すべからざる不合理性を痛烈にコキ卸した。そして英獨海軍協定の破棄、獨波不可侵條約の廢棄を堂々世界に向つて宣言した。ダンチツヒ及びポーランド廻廊に對するドイツの飽くなき執心は近



く強硬な手段となつてポーランドに示されるであらう。かくて歐洲の危機は更に深刻化する。ヨロツバはどうなる？ 戦争か否か、歐洲もし戦はゞ世界はどう動く、支那はどこへゆく、日本はどうする——これこそ今日の、世界の最大命題である。この命題を解く鍵として本社はここに「世界危機の書」ともいふべき小冊子を編んだ。風雲を孕む國際政局の中心都にあつてその情勢を凝視しつゝある本社特派員が生々しき世界の脈搏を傳へた「世界危機の打診」、かつてその國に大使たりし人々の手になる「歐洲火線の源」及び著名な軍事評論家ルールカン氏の「歐洲列強の戦略」等最近の朝日新聞紙上に連載された金玉篇が時局早わかり地圖とともに収録されてゐる。世界危機の真相を端的に知らんとする人々の御一讀をおすゝめしたい。

昭和十四年五月

朝日新聞社出版局

目 次

第一篇	米大統領の平和保障要求への應酬	四
ル大統領親電の内容	.....	四
ム首相演説の内容	.....	八
ヒ總統演説の内容	.....	一〇
第二篇	世界危機の打診	一八
英佛の獨伊牽制策	(伊太利) 前田特派員	一八
佛のバルチック制覇	(獨逸) 濱田特派員	二四
ソ聯の世界赤化策	(波蘭) ベル特派員	三〇
ポーランドの去就	(波蘭) 河野特派員	三六
英、伊の動き警戒	(英 國) オー野特派員	四二
兩勢力の對立	(英 國) オー野特派員	四八
マジノ線の死守戰略	(佛 國) 香月特派員	五四
米、露骨なドル外交	(佛 國) 渡邊特派員	六〇
日獨伊の制壓熱に浮く	(米 國) 森特派員	六六
第三篇	歐洲火線の源	七四
地中海問題の鍵	.....	七四
松田道一	.....	七四





第一篇 米大統領の平和要求への應酬

獨の目指す寶庫……………笠間 杲雄……………八四  
 廻廊で争ふ獨波……………松島 肇……………九〇  
 第四篇 歐洲列強の戰略〔ブラッセルにて〕  
 ルーロカン……………九六

佛のマジノ線……………九六  
 獨のジークフリート線……………一〇四  
 勝敗を決する制海權……………一〇九

第五篇 時局早わかり地圖

▲獨と羅馬尼の協力(二九) ▲英の新極東ルート(四一) ▲回教徒は何處へ行く(四七) ▲金はどこから出るか(五九) ▲バルカンの民族(六五) ▲地中海の列國軍港(七九) ▲リベリヤとはどんな國?(一一三)

附錄 歐洲風雲日誌抄……………一二五  
 挿圖

各國陸軍の特殊性……………一三  
 列強の誇る空軍の威容……………一六  
 建艦競争・三萬五千噸時代來る……………一九  
 佛のシークフリート線……………二〇  
 獨のシークフリート線……………二六







## ル大統領親電の内容

貴下は現在、全世界にわたり何億といふ人類が、常に新たな戦争乃至は連続して起る戦争の脅威に曝されつゝ生活してゐることを認識してゐられること、確信する。余は米國民を代表して語るものであるが、かかる恐怖の存在ならびにかゝる紛争の可能性は米國民にとり具體的な關心事であり、また同時に必ずや西半球にある他國民の關心事でもあらう。これら各國民はすべて一般的戦争がたゞひ他の大陸に局限されてゐようとも、その戦争の繼續する期間、さらにまた其後に來る數十年にわたつて彼らの上に重大なる影響を及ぼすことを承知してゐる。世界は過去數週間にわたつて異常な緊張の期間を経過したが、現在までの所軍隊の動きはなく瞬時的とはいへ、やゝ情勢が緩和したかに見える事情に鑑み、余はこの機會を利用して貴下にこのメッセージを送るものである。

從來、他の機會においても余は貴下に對し政治、經濟、社會各般の問題を武力に訴へることなく、平和的手段によつて解決するやう呼びかけたことがあつた。しかるに相次いで生起した事件の流れは、不幸にも武力の脅威を呼び戻したかの如くである、かかる脅威が續く限り世界の大部分が共同の壊滅にまきこまれることは不可避と見なければならぬ。かくて全世界は戦勝國も敗戦國もまた中立國もひとしく苦難を経験す

るであらう。余は世界が必然的にかゝる運命の擒とらねばならぬといふ宿命的思想に與みすることは出来ない。むしろ反對に、大國の指導者は各自の國民に迫つてゐる災厄からこれを救出する力を持つてゐると信するものである。また各國民自身がその心の裡ではかかる脅威が除去されんことを欲してゐることも明らかである。しかも最近の不幸な事實を認めなければならぬことはまことに遺憾に堪へない。即ち歐洲においては三ヶ國、アフリカにおいては一ヶ國が消滅した。極東においてはさらに他の一獨立國がその隣國によつて廣大なる地域を占領されてゐる。余はその眞實ならざることを確信するものであるが、情報はさらに一層の侵略行爲が他の獨立國に對して企圖されてゐると執拗に傳へてゐる。かくて紛争を合理的に解決された。戦争の必要なことは事實である。如何なる政府といへども自ら明らかなる國家防衛の理由による以外に、戦争を自國民乃至は他國民の上に課する權利もなければ必要もないことは自明の理である。この聲明をなすに當つて、我々米國人は利己心、恐怖乃至は劣弱感によつてこれをなしてゐるわけではない。我々が今かゝる聲明をなすのは、人類に對する力と友愛の聲をもつてなされてゐるのである。さらに余は實際問題は會議のテーブルの上で解決し得られると確信する。しかしかかる平和會議は一方的なものであつ

紛争を合理的に解決



熱辯を揮ふ大統領

する方法が発見されぬ限り、世界は明らかに一大難局に向つて轉落しつゝあると斷ぜざるを得ない。貴下はすでに繰返し戦争を欲せざる旨確言



てはならぬ。ただし如何なる國といへども會議の判決の結果が前もつて保障されぬ限り武器を棄て、しまふわけにはゆかぬからである。平和會議の席上においては法廷におけると同様、當事國の双方に具體的な正義が與へられるといふ確信をもつて協議が始められなければならぬ。また同時に會議の席には武器を棄て、丸腰で出席することが慣習でもあり必要でもある。かくて世界の各國が他國政府の現在ならびに將來の政策を明瞭に知ることが出来るならば、世界の平和は大いに増進されるであらう。

米國は目下のところ歐洲で起つた紛争に直接關係してゐないがゆゑに、余は貴下が歐洲から遠く隔絶した國家の元首たる余に對し、自己の抱懐する政策を明らかならしめる言明を進んで寄せられるものと信じて疑はない。余は貴下の寄せられる宣言を友好的仲介者としての責任と義務とに基づいて、貴國政府が如何なる線に沿ふ政策を遂行するかにつき、重大關心を有する國々に傳へるであらう。貴下は余に對して貴國の軍隊が次に擧げる獨立國を攻撃せず、或はこれら諸國の領有する領土に侵入しない旨の保障を與へて下さらぬであらうか。

フィンランド、エストニア、ラトヴィヤ、リトアニア、スエーデン、ノルウェー、デンマーク、スペイン、スイス、リヒテンシュタイン、ルクセンブルグ、ポーランド、ハンガリー、ルーマニア、ユーゴスラヴィヤ、ソウエト聯邦、ブルガリア、ギリシャ、トルコ、イラク、アラビヤ、シリア、パレスチナ、イラン、エジプト、イギリス、フランス、アイルランド、オランダ、ホルトガル、ベルギー。

かゝる保障は明らかに現在ばかりでなく同時に將來にも適用されるべく、かくて全世界はより恒久的な平和を平和的手段によつて確保する十分な機會を與へられるであらう。されば余は貴下が「將來」といふ言葉を

少くとも不侵略を保障した最少限十ヶ年、さらに希望出来れば廿五年間の期間と解釋されるやう示唆するものである。もしかゝる保障が貴國政府から與へられるならば、余は直ちにこれを前記各國に移牒し、同時に今度はこれらの諸國が同様の保障を貴國に與へるか否かを訊すであらう。

以上、余の述べた如き双務的保障の交換が實行されるならば、これは直接全世界に對し安堵を與へる事が出来よう。かゝる保障が與へられた暁には余はこれによつて招來された平和的雰圍氣において二つの重大なる問題が急速に討議されるやう提案する。しかしてかゝる會議に對し米國は喜んで参加する用意を有する。余が現在意圖してゐる協議の議題は世界の各國民を押し潰さんとしてゐる軍備の重壓を除き、積極的な救済を與へるための効果的かつ直接的な方法であるが、この軍備の重壓は今や日に／＼各國民を經濟的災厄の淵に追ひやつてゐる。更に米國政府は同時に地球上の各國が平等の條件の上に立つて、世界市場において賣買を行ひ、また平和的經濟生活に必要な物資を獲得する保障を與へられるために、國際通商の道を開拓するに最も實効ある手段を求めんとする會議にも参加する用意がある。また米國以外の關係各國もこれらの國が必要と思つた希望してゐる政治問題の討議を提唱することが出来るであらう。我々は人類のすべてに影響を及ぼす世界的問題を完全に認識してゐるものであるが、しかしこれら問題の研究ならびに討議は平和的雰圍氣において行はれなければならぬことを知るものである。

しかしてかゝる雰圍氣は會議が戰の脅威乃至は恐怖によつて影響されるにおいては存在し得ない。貴下は余が貴下に送るこのメッセージにある率直なる精神を誤解せざらんことを希望する。今日大國の元首は正に文字通り來るべき時代における人類の運命を左右する責任を負はされてゐる。大國の元首達は戰の大混亂か



ら免れようとする國民大衆の祈りに耳を掩ふことは出来ないのである。今後の歴史はあらゆる人類の生命と幸福とを左右した責任をこれらの元首に負担せしめるであらう。余は貴下のこのメッセージに對する回答が人類にとり今後長年に互り恐怖の念を除去し、安全を回復する可能性を與へられるであらうことを希望する。なほ余は同様のメッセージをイタリー政府の首腦に對しても通達した。

## ム首相演説の内容

余はこゝに世界的の大動員を行はんとしてゐるが、これは武器を持たざるもの、すなはち文明と平和のための大動員である。我々に爆薬を點火せんとする意思があり、また秘密な侵略計畫により世界を血塗らんとする意圖があるならば、世界各國を招請し、數十億リラを投じてかゝる大規模な博覽會を計畫するやうなことはしないであらう。現下世界には暗雲低迷してゐるが、我らは何人をも攻撃せず、好ましき贈物を作らんとすため、我らの建設を致々として始めるであらう。かゝるがゆゑに我らを侵略的といひ、獨伊樞軸を引裂かんとするものは誤れる意見を持つものといはざるを得ない。歐洲の事情につき全然認識を缺くものが、地理的大誤謬には一言も觸れることなく、たゞ十年間の保障など、機械的かつ馬鹿げた言辭を弄するとしても、我々は絶対にこれを容れることは出来ない。

ルーズヴェルト大統領今回のメッセージは、全體主義國家を被告席に坐らせんとするもので、かゝる企圖



りぶ辯熱の相首ム

は全く不合理と斷ぜざるを得ない。またアメリカが單なる傍觀者となつて大會議を開き、時局收拾の協議をせよともいふが、我らは従來の經驗から多數が集つて會議を開いても絶対に成功するものでないとの苦い教訓を得てゐる。ルーズヴェルト大統領の通牒に對し、回答するかごうかは言明の限りではないが、余はこの機會を利用してイタリーの國策と樞軸の政策は平和と協力に基礎を有するもので、ドイツ、イタリー兩國はすでに實行によりこれを證明したことを確認せねばならぬ。未來の慘事を説くものは、彼ら自身の恐怖と憎惡と彼らの國旗の力に對する過信とにより將來の妄想を描くを常とする。

然しながら我々は曇りなき良心を有し、我ら自身の平和と全世界の平和とを守る軍隊武器および手段を有するがゆゑに、過日來の英米佛の新聞による宣傳戰が何を意味し、ルーズヴェルト大統領の機械的な通牒の裏に何が隠されてゐるかを十分見抜いてゐるのである。我らの平和愛好の精神と政策は絶対不退轉のものであることを彼らは十分知り再び錯誤を重ねぬやうにすべきであらう。



## ヒ總統演說の内容

容内の説演統總ヒ

世界大戰の結果一億五千萬のドイツ國民の權利は精神異常の政治家どもによつて蹂躪せられ、ドイツ民族は經濟的存在の手段を奪はれて四散せしめられたのである。ザールのドイツ領復歸によつて獨佛間の領土歸屬に關する問題は最終的に解決された獨逸合邦の實現により、余はヴェルサイユ條約が七千五百萬のドイツ人に對してなした不正を是正したホヘンシュタインおよびモラヴィヤをドイツに編入したのは、同地方に四百萬のドイツ人が居住してゐるほか、同地方はドイツとの緊密な經濟的協力なくしては存立を續け得ぬゆゑであつた。もし今日の世界がミュンヘン協定を非難するならば、これは國際的戰爭挑發者どもが國際問題の平和的解決に反對すべく決意したことを意味するものである。余の見解によればチエッコ問題の解決はミュンヘン協定を蹂躪したものではない。むしろ余は中歐はおろか世界大戰の原因とも容易になり得た問題を解決出來たことを喜んでゐるのである。

確實なことは、チエッコ問題の解決はミュンヘン協定とは何の關係もないといふことである。イギリスはドイツをかれこれいふ權利はない。余は余の全政治生活を通じて常に英獨兩國の諒解と兩國の提携とを念願し來つた。何故ならば余はイギリス帝國が全人類の福祉のために、いかに重大な地位を占めてゐるかをよく理解してゐるからである。チエンパレン首相はもはやこれ以上にドイツに信をおき難いと言明したが、余は現在でも

容内の説演統總ヒ

なほ英、獨兩國は再び戦ふことはないと思ふものである。不幸にしてイギリスの公式、非公式の兩政策によれば、ドイツが加はるゝいかなる紛争においても、イギリスは必ずドイツの敵國に味方すべきだとの見解を堅持してゐることは疑問の餘地がないくらゐ明瞭に示してゐる。これはすなはちイギリスがドイツとの戦争を何か不可避のものゝやうに考へてゐることであり、余は深く遺憾とするところである。

余が現在イギリスに對し提出し、また將來も提出しつゞける意向を有する唯一の要求はドイツ植民地の返還であるが、この問題が武力紛争の原因となるいはれないことは、余の常に強調し來つたところである。イギリスにとつてこれらの植民地は無價値のものであるゆゑに、余は常にイギリスはドイツの立場を諒解し得るものと信じ、イギリスは自分にとつては何ら價値なく、ドイツにとつては死活の重要性を有するこれら植民地よりもドイツの友情を選ぶと確信してゐた。植民地要求を除けば余はいまだかつてイギリスの利益と衝突し、或はイギリス帝國を危殆に瀕せしめるやうな要求を提出した覚えはない。イギリスがいかなる事情のもとにもドイツと戦はねばならぬと確信し、かつその態度をドイツ包圍政策によつて確認してゐる現在では、英獨海軍協定の條件はもはや無効となつたといふべきである。余は今なほ自尊の目的以外ではイギリスとの建艦競争を回避したい。しかしもしイギリス政府がこの問題につきドイツとの交渉再開を希望する方向に傾けばイギリスと徹底的な諒解に到達することを望んでゐる。ドイツの欲するものはドイツ自身の所有物である。ドイツは決して他國の所有物を窺審してはゐないのだ。しかしドイツを侵略せんとするものは誰でも一九一四年のそれと比較にならぬほど強力な抵抗に遭遇するであらう。

つぎにメーメル問題に關しては、余はたゞにメーメル地方を一滴の血をも見ずして祖國へ復歸せしめ、かつ





ヒ總統の熱演ぶり

信すべからざる困苦からメーメル住民を救ひ出したのみならず、いまだドイツに属したくない領土は十分に尊重することを示したのだ。

獨波關係については多くをいふまい。しかしヴェルサイユの獨裁者どもはポーランド廻廊を作り上げるこゝによつて無限に獨波兩國相互の諒解を妨害せんとした。獨波間に未解決に残されたこの問題は百%ドイツ人の街であるダンチツヒ自由市のドイツへの復歸を希望してゐる。よつて余は過般ポーランド政府に對して左のごとき提案を行つた。

- 一、ダンチツヒを自由市としてドイツに返還すべきこと
- 一、ドイツはポーランド廻廊を通じて鐵道建設權を得、かつこれに治外法權的性質を付與すべきこと

これが代償として左記の諸項を提案した。

(イ) ドイツはダンチツヒにおけるポドランドの經濟的權利を全的に承認すること

(ロ) ポーランドに對してダンチツヒにその希望する規模の自由港を設立し、かつ完全自由な利用を保障すること

(ハ) これによるドイツ、ポーランド兩國の新國境をもつて最後のものと認めること

(ニ) ポーランドとの間に向ふ二十五年期限の不可侵協定を締結すること

(ホ) ドイツ、ポーランド、ハンガリー三國がスロヴァキヤの獨立を保障し、かつドイツがこれらの地方における一方的霸權樹立を放棄することを意味する共同誓約に署名すること

これに對しポーランド政府は余の成案を拒絶し、たゞ次の二點に關し協議する用意あることを闡明した。

- 一、聯盟の高等辦務官制度の改廢
- 一、廻廊を横斷する交通路の設置方法

余はポーランド政府のかゝる理解なき態度を心より悲しむものである。何故ならばポーランドが余の提案を受諾したならば、ポーランドは失ふよりも得るところが多かつたであらう。こゝにかくダンチツヒがいつまでたつてもポーランド人の街とならなうことだけは確實である。各國の新聞情報によれば、ドイツの侵略的意圖がイギリスの對ポーランド獨立保障提案となり、遂には英波相互援助協定の締結となつたといはれるが、この相互援助協定によつてポーランドとイギリスが援助協定を結んだ國々ドイツとの間に戰爭が起つた場合には、反獨戰線に参加すべく義務づけられてゐる。英波協定は余が自らヒルズドスキー元帥との間に締結した協定と背馳するものである。すなはち同協定は當時現存する唯一の協定として佛波協定を認めたに過ぎぬ。ポーランドの他國に對する義務の擴大は獨波不可侵協定とも相背馳する。かくて余は獨波兩國を拘束する協定は今や存在せざるを看做すものであるが、これは余の根本的態度を變化させるものではない。もしポーランド政府が獨波關係の再調整を希望するならば、獨波兩國を拘束する新しき明確なる義務を設定する要がある。



ドイツはポーランドの死活の利益を認める用意あることもに死活の利益を防衛せんとするフアシスト・イタリアの要求も十分理解してゐることはいふまでもない。それゆゑドイツ政府はアルバニアにおけるイタリアの行動を支持し歓迎した。

ドイツ政府の最高目標は日獨伊三國間にまずく緊密な關係を樹立するにあるが、それはドイツがこの三強國の自由と獨立の維持をもつて文化の保有と一層正しい世界秩序の建設に對し最も強力な要素とみなすからである。

余は現在數億の人間が絶えず戦争の脅威を感じてゐるといふルーズヴェルト大統領の見解を十分諒解する。余は人類はつねに戦争の脅威に満たされてゐないではないかと答へたい。一九一九年より一九三八年の間に十四の戦争が戦はれた。ドイツは加はらなかつたがルーズヴェルト大統領がごく擁護してゐる西半球の諸國は參加した。この期間にはさらに二十六回の武力干渉および惨虐な制裁が行はれたが、ドイツはこれにもまた加はらなかつたのである。アメリカだけの例を見ても一九一八年以來六回の武力干渉を行つてをり、同期間にソウエートは十回戦争に参加し、野蠻行爲に至つては枚擧に遑がない。ドイツはこれらの事件のいづれにも參加せず、またその原因を作つた例もない。ルーズヴェルト大統領はヨーロッパにおいて三ヶ國、アフリカにおいて一國がその獨立を失つたと述べた。もし彼がドイツに復歸した地方をさすならば、余はルーズヴェルト大統領を次のごとく啓蒙せねばならぬ。すなはち『諸國家』は一九三八年にその獨立を失つたのではない。一九一八年これらの國は祖國から切離されていはゆる國家となつたときにその獨立を失つたのである。アフリカに關しては自由を失つたのは單に一國のみではなく、殆どあらゆる住民は残酷なる暴力により驅逐され、彼らの自

由を失つたものである。ルーズヴェルト大統領は人類のためになしてゐるのであると述べてゐる。もしもこの人類の聲が適當な時期に發せられてゐたならば、かのヴェルサイユ條約は永久に締結されなかつたであらう。ルーズヴェルト大統領はさらに國際問題は圓卓會議によつて解決され得ると述べてゐる。これは理論的には眞實であるが、しかし不幸にも二十年間にわたる最大の會議（國際聯盟）の活動にもかゝらず、眞に重大なる國際問題は解決されてゐないではないか。ルーズヴェルト大統領が獨伊から保障を得る必要があると信じてゐるなら、獨伊兩國も同じくルーズヴェルト大統領に對して例へば中南米において如何なる政策をとる意向かと質問する権利があるわけである。もつとも余はもちろんなそんな質問を發するほど氣が利かぬことはないつもりである。

ルーズヴェルト大統領はヨーロッパ、アフリカ、アジアにわたる多數の國の領土の完整を保障するやうドイツに要求した。ルーズヴェルト大統領の列擧した諸國の表に眼を通して、余はこれらの國々がルーズヴェルト大統領に對獨メツセーシを發するやう懲慥したのか、或は少くともルーズヴェルト大統領の措置に同意を與へたかと怪しんだ。しかし諸國の回答が否定的であつたのみならず、ドイツの隣國はドイツの聲明により自國の領土完整を保障されてゐるか、あるひはルーズヴェルト大統領の奇妙なメツセーシよりはるかにはずきりした提案を接受してゐるのである。ドイツ政府は獨立の保障を欲する國にしてその國の政府が相對的に提案をもつてドイツに接近し來るものに對しては、その保障が雙務的なものであるこの條件のもとに、如何なる國に對してもかゝる保障を與へる用意がある。ドイツはさらに各國の要求する期間において協定を締結する用意もある。ルーズヴェルト大統領はそのメツセーシの結びにおいて、あらゆる大國の指導者達は全人類の運命に責任



を貢ふと述べられ、この指導者はその國民を破滅から守るやうにこの願ひに耳を傾けるべきであると言明された。余もまたかゝる責任を分つものである。しかし余はこれに對しては次の如くお答へしよう。  
アメリカの廣大さと莫大なる貯へことがルーズヴェルト大統領をしてあらゆる人類の運命に責任を感じせしめてゐるのである。

余は國際的權謀術數の犠牲となつて破滅の淵に導かれた國民を指導する運命を見守つてゐる。余は當然何よりもまづ自國民に奉仕する決意を抱いてゐる。余は外部からの脅威に對抗するため、ドイツ國民を政治的に統一し、新しい國防勢力を創設した。余は流血の慘をみずまた自國乃至は他國に苦痛を與へることなしに大ドイツを再建し、數千年の歴史を有するその國民的統一を回復した。ルーズヴェルト大統領は非常に幸運にも人口稀薄（一平方キロにつき十五人）なばかりでなく、尠大な礦物資源を有する國を支配してゐる。余の世界は地域的に遙かに狭いけれども、余は自國民に奉仕することにより、われ／＼のすべてが心を留めてゐる事柄、すなはち正義、福祉、繁榮、進歩および地上の平和にもつともよく奉仕し得ると確信するものである。

## 第二篇 世界危機の打診



# 利太伊

## 英佛の獨伊牽制策

### 歐洲平和を脅かす

【ローマ】前田特派員

ミュンヘン會議の結果は、英佛の無力ぶりを見せつけられた小國をして一層獨伊樞軸に接近せざるを得ざらしめた。獨佛共同聲明調印により西部國境の保障が出来たと考へたフランスから、當時二つの異なる觀測が流布されてゐた。

一はフランスが右保障の代償としてウクライナにおけるドイツの自由行動を默認したといふものと、二は右は九月のチエツコ事件により崩壊した對獨包圍政策再建の第一歩であるとの見方である。

この二つの情報に如何なる根據があつたかは暫らく問はぬとするも、諸小國にとつてはいづれ



前田

も不安の種ならざるものはない。それはもし佛が事實上ウクライナにおける自由行動を承認した場合は勿論、また第二の觀測の場合でも直接しかも最大の危機に見舞はれる恐れのあるのは佛、ソと關係をもつ諸小國自身にほかならなかつたからである。かくて獨と不可侵條約を結んでゐるポーランドは、共產主義を極度に憎悪しながらもソ聯に秋

波を送らなければならなかつた。またナチ運動浸潤に悩まされてゐたルーマニヤは、カール皇帝のロンドン御訪問を断行する羽目に立ち至つたのであつた。だがポーランドはこの工作によりドイツからより大きな反撥を受けたに過ぎず、ルーマニヤはその新方針を餘りに大きな經濟問題と結びつけたばかりに何らの成果を見ずして終つた。結局これら小國が安全感を満足させるために残された唯一の道は内に小國間の團結を計り外に獨伊樞軸と親善關係を維持する以外にないこととなつた。そして中東歐諸國のこの運動は昨年末から今年初頭にかけて一層加速度的となつて來たのである。

さて、この新態勢は個々の小國が直接獨に働きかける方策と獨伊樞軸のうち、比較的脅威の少



イタリアを仲介としてその目的を達せんとする方策との二個の形式を相互に聯關せしめて來た。昨年十二月より今回のチェッコ事件の直前までだけを算へても、まづチアノ伊外相のブダペスト訪問、チャキー洪外相のドイツ訪問、ベツク波外相のベルヒテスガーデン訪問、チアノ外相のワルソー、ベルグラード訪問、リツベントロツプ外相のワルソー訪問、ルーマニヤ外相のポーランド訪問等々がある。

これらの訪問外交の目的は要するに、

第一　ポーランド、ルーマニヤ間およびイタリア、ユーゴスラヴィヤ間の親善關係を利用してハンガリーとユーゴ、またハンガリーとルーマニヤ間の國交を調整のうへズデーテン問題解決後におけるダニユーブ新體制を確立し、イタリアに對して政治的經濟的關係をより密接にする。

第二　ドイツはポーランドに對し現状維持を保證するとともに、ポーランドの對佛ソ接近政策を反省せしめることを根幹とし、獨伊それ々の立場を考慮しつゝも樞軸の強化を計るにあつたやうである。

イタリアが主動的立場をとつた第一の問題はその後ユーゴのストヤチノヴィツチ内閣の崩潰

ハンガリーのイムレヂ首相の退陣などで實現が遷延したが、ハンガリーの防共協定参加により樞軸強化の段階は既に一步を進めるに至つた。獨のポーランドに與へた保障に關しては一の挿話がある。

去る一月末、ヒ總統がその演説において植民地獲得の意圖を闡明するや、英國は表面これを平和的演説として歓迎しながら——内心甚だ不安を感じ、對獨國交打開の目的でドイツ政府に對し太平洋にある舊獨植民地を返還する用意あるとともに、ひそかにウクライナ工作を默認する旨の申入れをなした、ドイツ政府はこれを逆用しポーランド政府に對しウクライナ工作を默認することを申入れる向もあるが、ドイツとしてはポーランドにして、もし中立の地位を堅持し、かつ佛ソ關係を再考する場合は急速にウクライナ工作にも乗り出さず、かつダンチツヒ問題、廻廊問題の現状維持にも同意する用意ある旨を暗示したのであつた。

さればこそ今回の事件に際してもハンガリーとの國境接續を希念しながらも、豫想に反しポーランドは遂に出兵しなかつたのである。英佛兩國は中東歐諸國のかゝる獨伊樞軸接近政策阻止のためチェッコ消滅の前後二つの手を打つた。第一は、老大な軍備擴張政策によりその關心を英



佛側に取戻さんとするものであり、第二は、ソ聯をも含む反ファツシヨ大同團結運動である。しかしこの二個の手も有害無益で、却つて歐洲の平和を脅威したに止まり、中東歐諸國を獨伊樞軸から引離すことには成功し得なかつた観がある。しかし今回のチェッコ事件は同時に中東歐より中亞に連なる諸小國を眞の團結に導くことが當分困難であることを發見する端緒ともなつた。それはこれら諸小國間に現状維持と現状打破とをめぐり越え難き溝があり、これがため相互の疑心暗鬼は想像以上のものがあるからである。

さて英佛兩國は上述の如く今回の事件を機會に反ファツシヨ神聖同盟論を振かざし主として對獨壓迫を畫策するとともに、今回の事件はドイツが從來聲明し續けて來た「ドイツ人のドイツ國建設」の假面をかなぐり捨て完全な帝國主義的征服慾を暴露したものと見、これはやがてイタリアの權益も危殆に瀕せしめるものであると宣傳し、獨伊樞軸の破壊策に轉じたのであつた。事實純粹な經濟的觀點からすれば中東歐における獨伊の利害は必ずしも一致するものではないといへるだらう。しかしイタリア政府が去る二十一日のファシズム大評議會で明かにし、また二十六日のムソリーニ首相の演説でも強調されたやうに獨伊樞軸は單に獨伊兩國間の物質的利害關係に

より結成されたのではなく、實にナチズムとファシズムといふより深い根柢に立つて誕生したものである。だから僅に中東歐方面で經濟的摩擦があるといふ事實のみで獨伊樞軸が緩むと見るのは當らない。政治的に見てドイツの東進政策は少くともイタリアの精神的支持なくして實現し難いであらうし、イタリアの地中海制覇もドイツの好意的態度なくしては期し難いばかりでなく二個の革命の將來性から推してもその相互關聯を否定し去ることは危険このうへもないのである。いはんや中歐、東歐におけるソ聯の勢力の殘骸がまだ残つてをり、かつ英佛との協力の新展開の問題が既に過去において獨伊兩國が十分に經驗済みである點において、ドイツは勿論イタリアといへどもしかく簡單に對獨協力を放棄し得ない實情にあるのだ。従つて周圍の雜音が如何なる反響を傳へようともムソリーニ、ヒットラーといふ兩人格によつて結ばれた獨伊樞軸は歐洲政局の推進力として一層發展の餘地こそあれ揚棄されねばならぬ理由はない。しかしして勿論獨伊樞軸が歐洲政局の推進力である限り、それ／＼潜在的危險性を内蔵する中東歐諸國もまた一層この線に沿うて行かねばならぬであらう。何となればかくてこそ初めて現下の情勢では自國のより繼續的な安全を保障し得るからである。



獨 逸

獨のバルチック制覇

切札はポーランド

【ベルリン】 濱田特派員

ドイツのバルチック方面に對する政策は、すなはち對ポーランド政策、東方政策の重要な内容そのものである。共産主義に對する防壁とする意味からも、ウクライナの豊富な産物を欲する意味からも、また斯拉ヴ民族に對するヒットラー總統の哲學的な考へから見ても、バルチック政策の重要性はうなづける。ナチス・ドイツの希望がウクライナにあることは事實である。しかしその方法としてのポーランド廻廊に對する政策は後廻しとなるであらうと見られてゐた。しかしながらチエツコ問題、メーメル問題を解決した今日になると、この點は再検討する必要があらう。またこれによつてドイツのバルチック方面に對する政策についての觀測も若干變つて來るであ



濱田

らう。ポーランドの立場から見ると、ドイツがこれほど強くなつた今日においてポーランドがソ聯側に引入られることは最早あるまいと見られる。しかしポーランドはイギリスとの關係もまだ斷ち切れないでゐることは事實である。他方においてチエツコ問題、メーメル問題解決の後でドイツがポーランドを、つきりドイツ側に立たせようとして外交工作をしてゐることも事實である。

ポーランドが全然ドイツ側に立つか、否かはイギリスとポーランドとの關係の今後の推移を見ねばならぬ。ドイツが辛抱強くポーランドをわが方に引入れようと努めてゐることは最近ポーランドにおいてドイツ攻撃の聲が放たれてゐても、ドイツ新聞はこれを知らない振をしてゐるのを見ても諒解出来るだらう。ポーランドが將來イギリスとの關係を清算してドイツと密接な關係に立つ場合に、廻廊やダンチツヒの問題を直ぐ解決するか否か、それとも従來通り對ソ聯の政策の解決の後まで残すかは現在のやうな變化の激しい國際外交では簡単に推量することは困難である。しかしドイツとロシアニヤにおけるメーメル問題解決が廻廊、ダンチツヒ問題解決について一



つの例を示したことは事實だといへよう。また廻廊は別としてもダンチツヒ問題は割合に解決し易い問題といへよう。もつともドイツがメーメルと同じ筆法をポーランドへ持つて行くか、ポーランドがリスアニアのやうにメーメル式の解決を受けるか否かはイギリスとの関係も考慮に入れねばならず疑問である。しかし大局からいつてチエツコ問題解決後はポーランドがソ聯から離れざるを得ない立場にあること、またドイツへ接近せざるを得ざる形勢になりつゝあることは事實だ。最近の英首相のポーランド援助宣言にしてもドイツの意向に重點を置くポーランドとしては痛し痒しでベツク外相はなほ得意のいはゆる「獨自外交」に執着してゐる。近く行はれる訪英も出来るだけ政治問題を避けたい方針であるといはれるのはそのためである。

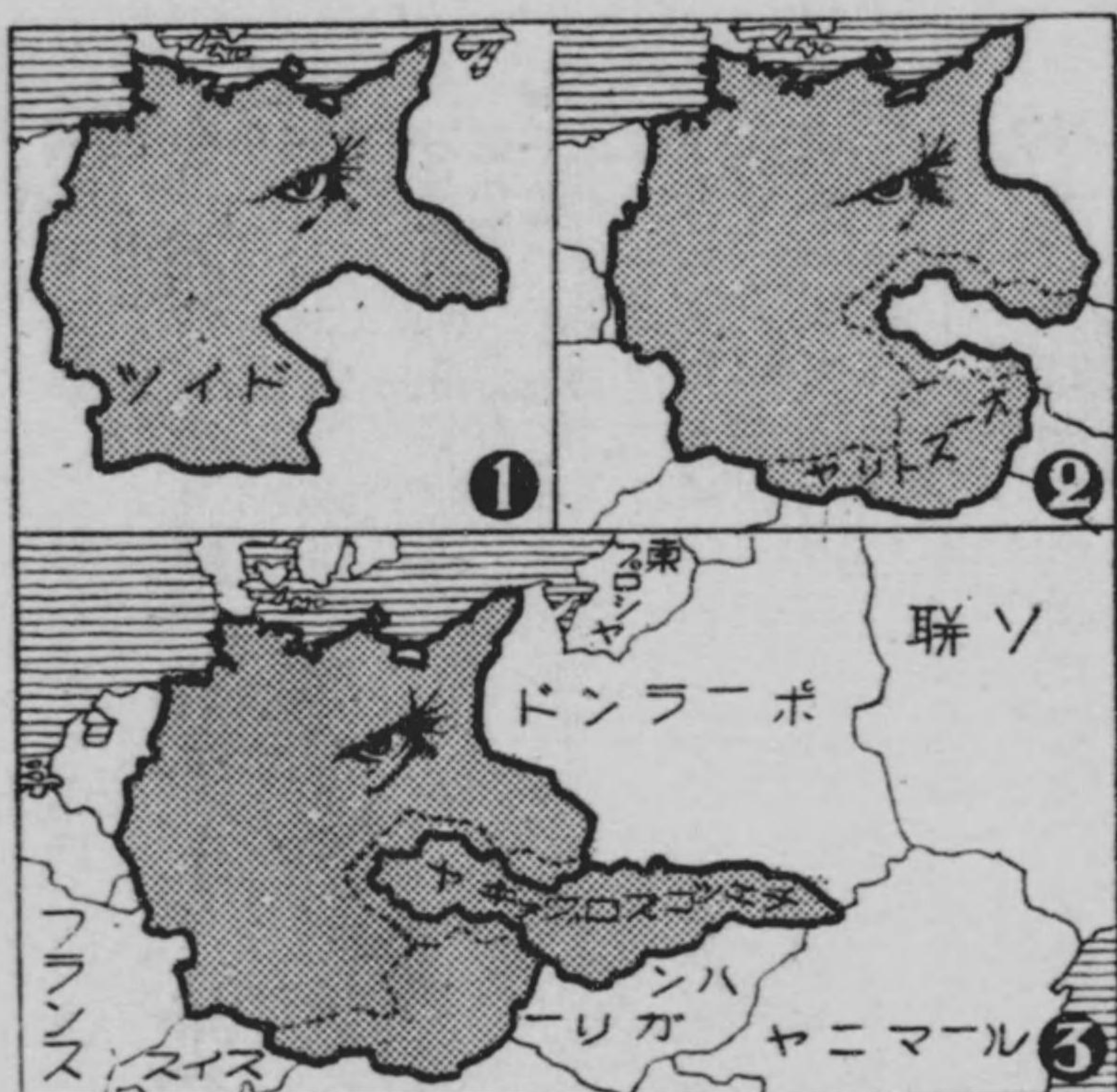
ポーランド以外のバルチック諸國ではリスアニアはドイツと離れるを得ざる形勢になつてをりラトヴィヤ、エストニア、フィンランドがメーメル解決後に中立を標榜してゐる。これらの國々に對して従來政治的にも經濟的にもイギリスの勢力が指導的立場になつてゐたところ、今急にこれらの諸國が中立を宣言するといふ事實はドイツの勢力に一目置き始めた證據にならう。ことに例へばリガの如きは昔のハンザ同盟の町であつてドイツ人の血が多いといふやうにドイツの勢力

進展によい下地を備へてゐるのも事實だらう。問題はこれらの諸國においてイギリスがドイツの勢力を拒み得るか、イギリスがこの方面でもソ聯と共同動作を取り来るか否かであらう。スエーデンは以前からドイツと密接な關係にあり、例へばスエーデン産出の鐵の鑛石は、鐵分の多いものはスエーデンで消費し外國へ出すものは鐵分の少い鑛石だが、その中でも一番鐵分の多い鑛石をドイツに輸出したものだといはれてをり、チエツコ問題解決後はドイツとの接近に拍車をかけ得る状態だと見られてゐる。

ポーランドについて問題の起り易いのはデンマークだといはれるが、デンマークは世界大戦後ドイツのシユレスウイヒ、ホルシユタイン地方を取つてゐてドイツから文句をいはれ易い立場にある。デンマークはイギリスの勢力範圍にあり、ドイツと國境を接する小國の中では一番對獨強硬態度を續けてゐるのも事實である。勿論ドイツはデンマークに對しても平和的に兩國間の關係を整頓しようといふ政策を取るであらうが、デンマークはイギリスに頼る従來の政策を捨て難いであらうから、結局はドイツ、デンマークの關係解決はドイツ、イギリスの話し合ひにならざるを得ないだらうと傳へられる。



大體からいへばチェッコ問題、メーメル問題の解決後はバルチック方面においてはドイツの勢力が進展し、イギリスの勢力が退却する大勢になつてをり、バルチックに對するドイツの政策の切出しはポーランド問題といへるだらう。英佛がアメリカまで引入れてこのポーランド問題に躍起となつてゐる所以もこゝにあるが、他方オーストリアとチェッコとを合併せる現在のドイツは歐洲第一位を誇るクルツプ、スコダおよびウインの三大武器工場を持つことになることも考慮に入れてよからう。



この地圖は何を示唆したのでせう？ ①ヨーロッパの瘦せた狼が②忽ち肥えて力が強くなり③長い舌をペロリと出してよき獲物はないかを探りはじめた。ルーマニアの石油でもなめるのであらう……と英佛側の新聞がドイツを狼にたとへてその膨脹ぶりに怖氣をふるつてゐるのです。

しかも四月十九日には訪獨中のガフエンコ外相により獨羅會談が圓滿に成立しましたも



### 獨と羅馬尼協力

英佛の膽を奪つた。ルーマニアの石油資源や農林業を合併開發して生産物をドイツに送り、ドイツからは農具、機械、武器などを供給するといふ兩國經濟協定はルーマニアへ派遣されたウォルタート獨特使により三月二十三日出來上り、一九四四年までの期限となつてゐるのだが、今回はそれが確認された上に、ルーマニアは反ソ陣營に参加し、獨との提携はさらに緊密となつたものである。なほドイツの石油需要量は平時で年額五百万トン、ルーマニアの年産は八百七十萬トン（一九三六年）に達する。



蘭 波

長期大戦を狙ふ

ソ聯の世界赤化策

【ワルソー】ベルリン

筆者ベルリン氏はポーランド半官新聞通信社「パット」の政治部長で、有数のソ聯通として知られ、近くポーランド新聞通信社を代表して東京に特派される予定である。

来るべき歐洲の危機に際し、ソ聯は恐らく中立を守るか乃至は積極的態度に出でないものと観測される。最近の情報によるとモスコー當局は英の提案たる「ドイツの侵略行為に對する英、佛、ソ三國共同制裁宣言案」に應諾する旨決定したとのことであるが、この事實にも拘はらず歐洲に戦争勃發の場合、果してソ聯が英佛に對し軍事的援助をなすや否やは頗る疑はしく、かつ獨ソ間にはポーランドを挟んで直接國境を接してゐないため、ソ聯から援兵を繰出すことは至難



ベ ル ソ

事に屬する。ポーランドはドイツから直接攻撃を受けるか或ひはドイツによつてその死活的權益を脅威されざる限り、中立的立場を嚴守するであらう。しかし獨、波間には不侵略條約が締結され、現在善隣關係にあり且つポーランドの無視し得ざる強大軍備の存在などより觀測して、獨波開戦の如きは、その可能性頗る稀薄なりといひ得よう。

だがもしドイツより侵略された場合、ポーランドはソ聯より少くとも技術的援助を仰ぎ得べく、またバルチック海においてソ聯海軍の協力を期待し得るであらう。しかしかゝる場合といへどもポーランドは赤軍のポーランド領土進駐を許容することは斷じてあり得ないであらう。これはまたルーマニヤ及びバルチック諸國の立場についても同じことであらう。それゆゑにこれらの事情を綜合して推察されることは、英佛がソ聯に對して期待するところのものは歐洲におけるよりもむしろアジアにおけるその活躍であるといふことが出来る。

その筋の情報によれば英佛の計畫は歐洲において英佛が「自由手腕」を振ひ得るためにソ聯をして極東において日本を「釘付け」にさせようとするにあると傳へられる。だがソ聯として見れ



ばルーマニヤ及びバルチック諸國がドイツのため軍事的に占領される場合、ソ聯の西部國境線が非常な脅威に曝される恐れある今日、この西部國境を放置して日本と單獨で戦ふことは欲しないところである。事實ルーマニヤ及びバルチック諸國が如何に國防強化に狂奔しても畢竟ドイツはこれら諸國に對して例外的行動をとるものとは信ぜられず、これら諸國がドイツの占領下に歸するやうな場合も可能であるから、ソ聯としては到底その西部國境の防備を等閑視するわけにはゆかぬであらう。かゝる事態に當面すればソ聯は自國軍隊のみをもつて一方ルーマニヤ、ラトヴィヤ、エストニアの現國境線を守備すると同時に、他方その東部國境をも防備せねばならない状態に立ち至るであらう。かゝる事態を考慮すればソ聯としては歐洲及びアジアにおいて同時に開戦し、東西に戦線を持つことはその輸送能力の貧弱な點からだけでも回避せざるを得ないであらう。況んやソ聯は平時においてすら國內情勢常に險惡を極めてゐるにおいてをや。

他方ソ聯は反ボルシェヴィズムの諸國に對しては全體主義、民主主義の別なくこれを憎惡してをり、それら諸國のいづれが勝たうとも何らの關心を有せず、出來得べくんばソ聯はその埒外に立つて國力を損することなく、やがて來るべき世界大戰に十分備へ、歐洲が戰禍のため疲弊困憊

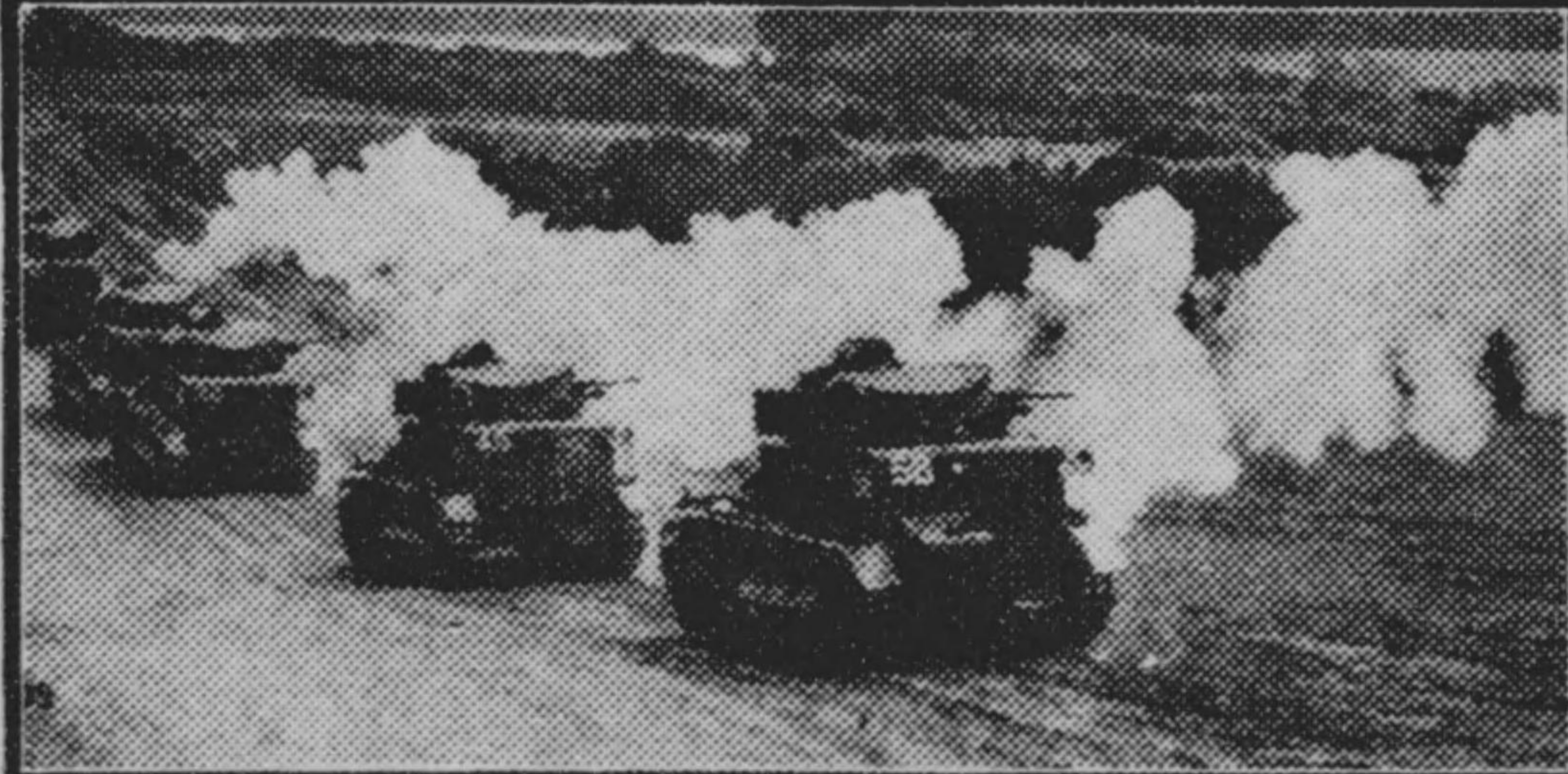
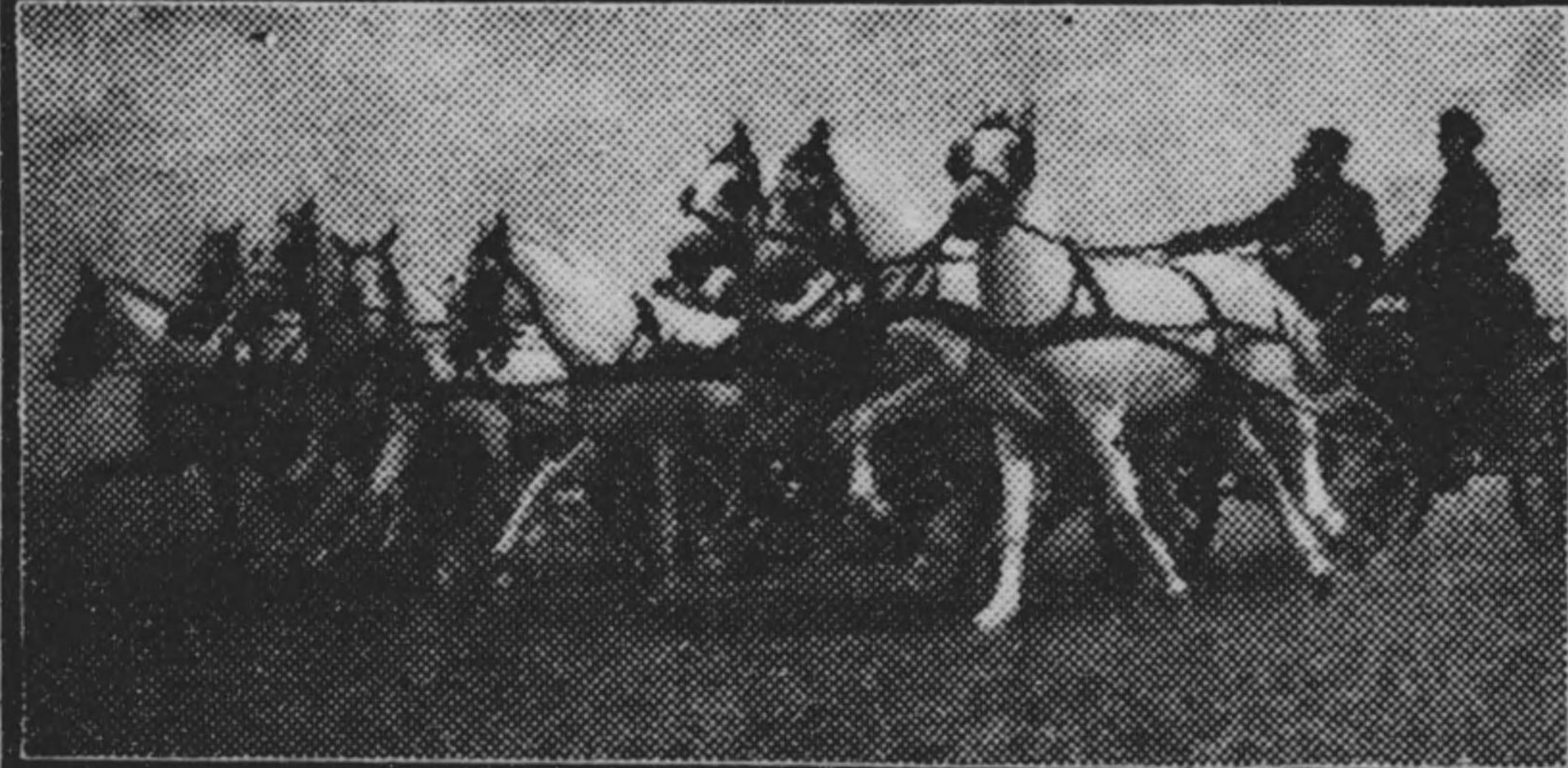
に陥つた間隙を狙つてそこに共產主義體制を確立せんものと目論んでゐるのである。ゆゑにソ聯の英佛に對する協力には表裏があり、決して誠意あるものとはいひ難く、これは去る十八回共產黨大會においてスターリンがファシズムよりもむしろデモクラシーを攻撃した演説を行つたことを想起しても明かである。このゆゑにモスコウ當局は來るべき世界大戰に期待し、且つそれが出來るだけ長びくことを欲してゐるのである。蓋し短期間の戦争では世界大衆の赤化を期するとは出來ないであらうし、また共產主義のテーゼに従へば次の世界大戰を利用して世界革命を成就すべきことになつてゐるからである。

しかるに英佛對獨伊がもし戦ふ場合、獨伊側は原料品の不足によつて短期間に英佛側の勝利に歸する可能性が多いと見て、ソ聯側はかゝる短期の戦争ではその目的を達成し得ざるを憂慮し、對策に腐心してゐる。すなはち昨年十二月ソ聯がイタリーと原料品供給に關する協定を締結したのも實はソ聯にこの遠大な計畫があつたからであり、ソ聯は民主主義國、全體主義國の戦争の場合、出來るだけ戦争を長びかさんと意圖のもとに對伊通商協定を結んだのである。最近の歐洲における「ファシストの侵略」に對してモスコウ當局があれほど憤懣の情を吐露せるにも拘ら



す、遂に前記の對伊協定を破棄するに至らなかつたのも、一にこの間の事情を物語るものであることを忘れてはならない。

これらの事情を綜合するに、ソ連は目下その國內事情からもまたその權益保持の立場から来るべき歐洲の危機に對しては介入を出来るだけ回避する方針であり、ソ連が積極的に起つやうな場合は單にソ連自身の領土が東からか、或は西からか脅威される場合に限られるやうに見られる。



軍陸國各 性殊特の  
 車馬の立頭四は [中] クラク射放焰火の軍陸—リタイは [上]  
 [下] [カンヤチタ] 隊統開機兵騎の聯ソるす進軍てし載搭に  
 撃射齊一の隊車戦中の軍陸英は





蘭 波

和戦の鍵を握る

ポーランドの去就

【ワルソー】河野特派員

今回の英波同盟の成立は歐洲が再び大戦直前の如き英獨爭覇を基礎とする本格的國際紛争の具體化したことを示すもので、今や歐洲は大戦勃發の前夜を彷徨しつゝあるとの觀測を下さざるを得ない情勢となつた。ドイツの電光石火のチエツコ合併に驚いてイギリスはドイツの中欧、東南歐における急激な膨脹を阻止するため、自らイニシアチヴをとり、共同宣言案を提議した。ソ聯はイギリスの弱味につけ込み平和會議招集をもつてこれに答へ、さらにソ聯が侵略される場合イギリスが武力援助をなす用意ありやと代償を求めた。ポーランドも武力援助の伴はぬ宣言の無意味を指摘し、かくて宣言案は英の權威の失墜する結果に終つた。しかし強靱な英外交はたくみ



河 野

にポーランドの弱點を搦んでポーランド誘引に努力した。チエツコ合併後のポーランドはソ聯との國境を除き、三方面から獨の包圍下に立ち本年一月ベルヒテスガーデンにおける獨波會談によつてヒットラー總統から再三侵略を言明されてゐるに拘らず、これに信賴し得ず國防の安全感を持ち得ず、國民も強い反獨感情を持つてゐるなどの事情のため、英の口説き落しが遂に成功した。

現在のポーランドはソ聯との戦勝により東歐における大國としての地位を備へて來たが、建國の父ビルスドスキーの死後これに代る指導者なくドイツ、ソ聯の間に介在し臨機應變の中立政策により今日の地位を保つて來たのである。しかるに國際情勢の逼迫は今や從來の中立政策のみでは國防の安全を期し得ない事態となつた。危機に臨むポーランドの刻下の政策は大統領、政府、軍部の三者により決定されてゐるが、政治の實力を握る軍部は傳統的に親佛反獨的である。スラヴ民族たる國民もまた感情的、歴史的に反獨的である。それゆゑに英佛は巧言を以てその軍備と戦闘力とを過大評價せしめてゐるので、現在の情勢はダンチツヒや廻廊のためにはドイツとの一

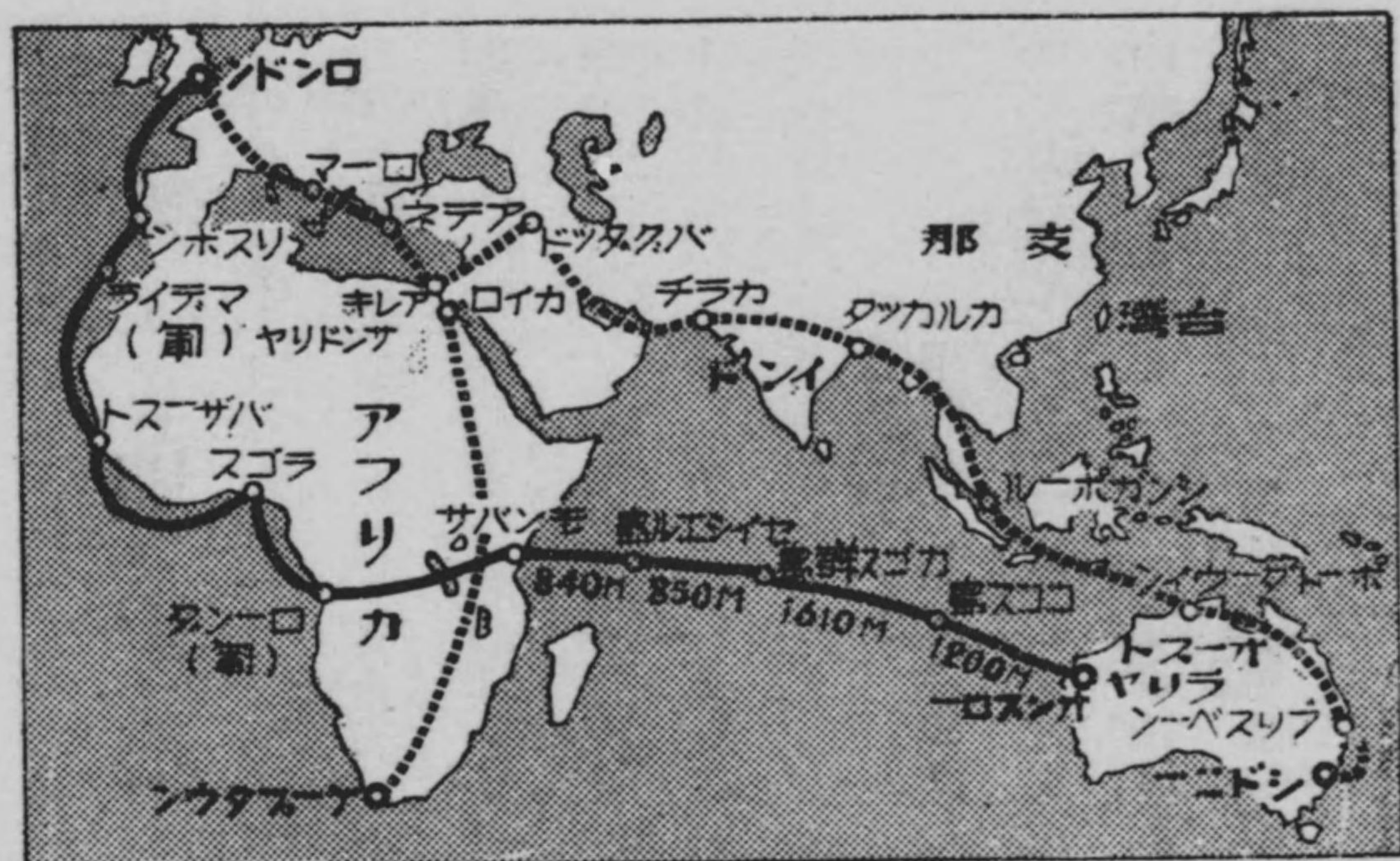


戦をも敢て避けたいといふ雰圍氣に置かれ、ポーランド朝野の意向は領土の變更討議は絶対拒否といふ強硬態度を持してゐる。殊にドイツは經濟力において半年以上の戦闘繼續能力なきこと、國內統御困難なことを理由とし、ドイツの戰爭能力を過小評價してゐる。しかし政府、軍部は何といつても自國の實力につき相當の知識を持つとともに、ドイツとの間に戰爭の原因となり得る廻廊、ダンチツヒの如き懸案を擁してゐるので、有名無實化した佛との同盟を強化する意味でイギリスのごとき大國と相互援助を約して、その國防安全感を確保することが必要となつて來た。イギリスからその獨立が脅威される場合、あらゆる援助を惜まずと勧誘されては現在のポーランドとしてこれに飛びつくのは當然のことだ。しかし英の保障は獨立が脅威される場合に對するものでダンチツヒ、廻廊の現状が變更される場合を以て必ずしも獨立が脅威されるとは認めず、從つて英の援助義務が直に發動するや否やは疑問とされる。これポーランドが今なほドイツとの間に交渉の餘地を残してゐる所以である。チェツコ問題以前に決定したベツク外相のロンドン訪問は英波協定調印の使命を帯びる結果となつたが、ベツク外相としては英との間にダンチツヒ問題につき懇談を遂げておく必要があつた。

今日までのところドイツとの間にはこの問題につき現状變更の意思なきことが相互に確認されてはゐるが、聯盟からダンチツヒの解決案につき調査を委託されてゐる英、佛、スエーデンの三國委員會は五月に何らかの結論を報告する豫定となつてゐる。ポーランドとしては豫め英の意向を確かめおく必要があつた。ポーランドは今回の同盟がイギリスよりの提議によるもので然も二國限りの同盟であり既存の佛との同盟と同じ形式で決してドイツを目標とするものでなく、また英佛との三國同盟でもないことを強調してゐる。またソ聯を含む集團保障體制の實現しなかつたことを喜んでゐる。ポーランドはソ聯との不侵略條約を延長し、また通商協定を結んだりして最近むしろソ聯接近の態度を示してゐたが、今回の同盟成立に際してはむしろ反ソ聯の宣傳に努め英がソ聯と深く接近するのを阻止する態度に出たやうだ。しかしこの同盟によつてドイツとの關係が悪化したことは掩ふべくもなく、今後の對獨方針の如何によつては歐洲の危機は獨波間に於いて勃發する恐れがあり、それは畢竟ポーランドの背後から綱を引く英と現状打破を目指す獨との不可避の衝突を意味するものである。大戦前のバルカンの地位はかくて今やポーランドの國境を繞る東歐の地域に轉化されたとしてゐる。ハンガリーはポーランドに對し極端な反獨政策を



とらざるやう勸告してゐるが、ポーランドもさるもの、たとひ同盟成立し借款を許容されても英の希望する如きポーランドが英のお先棒となるかどうか多くの疑問の存するところで、事實ポーランドはドイツに對しては最大の關心を示し最善の努力を盡して現状保全工作を進めてゐると信すべき理由がある。かくしてこゝ暫らくポーランドの動きを注視することは歐洲大戦勃發の危機を卜する一つの鍵であるといふことが出来よう。



### 英の新極東ルート

イタリー空軍の威力に怯え、またジブラルタル軍港を脅かされて東洋諸領域との聯絡路確保に狂奔してゐる英當局は、まづホルトガルに對しラゴス港およびマテイラ、アゾーレスなどの諸群島の軍事施設強化を提議し、またアフリカ南端經由航路を主要航路に引あげる爲アフリカ西岸のフリータウン、南端のサイモンスタウンの兩軍港の強化計畫を樹て、近く實行に移さんとしてゐる。また現在地中海經由シナガポール、オーストラリアへの歐亞航空路の副次的なものとして南方コース即ちアフリカ大陸横斷の新ルート開拓に着手し、英濃記録飛行に墜落惨死を遂げた空の巨人キングスフォード・スミスの舊友P・G・テイラー氏は來る六月を期してこの新英濠航空路中オンスロー（オーストラリア西部）モンバサ（東部アフリカ）間四千五百マイルの試験飛行を試みることをなした。

（地圖中點線は現在のルート、黒線が新ルート）





英國

地中海にSOS

英、伊の動き警戒

【ロンドン】オーガー

筆者本名はホリアコフ、ポーランド生れの白系露人、永くロンドンのタイムズ紙外交専門記者として名あり、現にニューヨーク・タイムズ、ロンドン・イヴニング・スタンダード紙その他歐洲諸紙の外交評論を擔當、佛のベルナツクス、伊のカイダ兩氏らとともに歐米外交評論家中もつとも權威者として知られる。

チエツコ崩潰以來、世界の視聽は地中海に集まつた。ドイツの盟友イタリーは果していかなる手を打つであらうか。現在すでに沿岸各所で無氣味な風雲を孕んでゐる地中海はムソリーニ伊首相の一投石によつていかなる波紋を巻き起すか、見よ地中海では西端にスペイン内亂が最後の段階に達し、關係各國は秘術をつくして自國の權益と將來の足場擁護に努めてをり、こゝより順に東に行くにしたがつて地中海の制海權を繞る英伊の争ひ、チュニジャその他に關する佛伊關係



— ガーオ —

の紛糾、さらに地中海の東端ではパレスチナ問題が燃焼してゐる。また舞臺は紅海まで延びてジブチからアデンまで登場する有様である。かくて地中海は現下の國際紛争の主要舞臺の一として世人の關心を集めてゐる。しかしロンドンでは地中海の將來については樂觀論が有力であり、少くとも近い將來にこゝから重大なる國際戦争が起るやうなことはないであらうと觀測してゐる。即ち地中海問題はそれを分解すればこゝに最大の利害を有する三國、即ちイギリス、フランス、イタリーの關係となり、英佛の間に利害對立なき今日では單に英伊關係と佛伊關係の二つに壓縮されよう、しかしてイギリス政府筋ではこれについて大要次のやうな觀測を下してゐる。

一、佛伊關係 スペイン人民戦線の牙城マドリツドの陥落ならびにこれに續くフランコ軍のスペイン全土平定は従來佛伊兩國間に存在してゐる障壁が除去されたことを意味するもので、イギリス政府としてはこれを機會に佛伊交渉が始めて軌道に乗つて進行し、かくて地中海が従前の恒久的平和状態に立還ることを期待してゐる。佛伊關係は英伊關係に比してその調整が困難であ



る。これは永らくの間、兩國の輿論が相互敵對的な新聞報道によつて興奮して來た故である。しかしムソリーニ首相の提示した對佛要求中にはフランスにとつて絶對的に受諾不能といふべきものは何もない、すなはちムソリーニ首相が三月廿六日の演説で明かにした三要求すなはちチュニジヤ、ジブチ、スエズは何れもフランスの受諾の範圍を越えたものではないからイギリス政府は常に佛伊兩國の不和の原因を除去し兩國の親善關係を確立すべく蔭ながら努力を吝まなかつた。しかし三月二十六日のムソリーニ首相の演説はイタリーが中庸を採つてゐる證據としてロンドンで歡迎されてゐる。英國政府はイタリーの諸要求は多くの點において首肯し得、したがつて慎重なる考慮に値するものとしてをり、中歐その他における事態が今後一層紛糾せざる限り佛伊關係の助力によつて圓滑となり兩國の親善は戰爭に訴へずして確立し得るであらうとなしてゐる。

## 二、英伊關係

次に英伊關係を見るに地中海において兩國の權益に根本的對立は存在しない。すなはち地中海はイギリスにとつては第二次的英帝國ルートに過ぎない。英帝國の主要ルートは大西洋からアフリカを廻りインドに達するものである。この主要ルートにおいては英帝國のいか

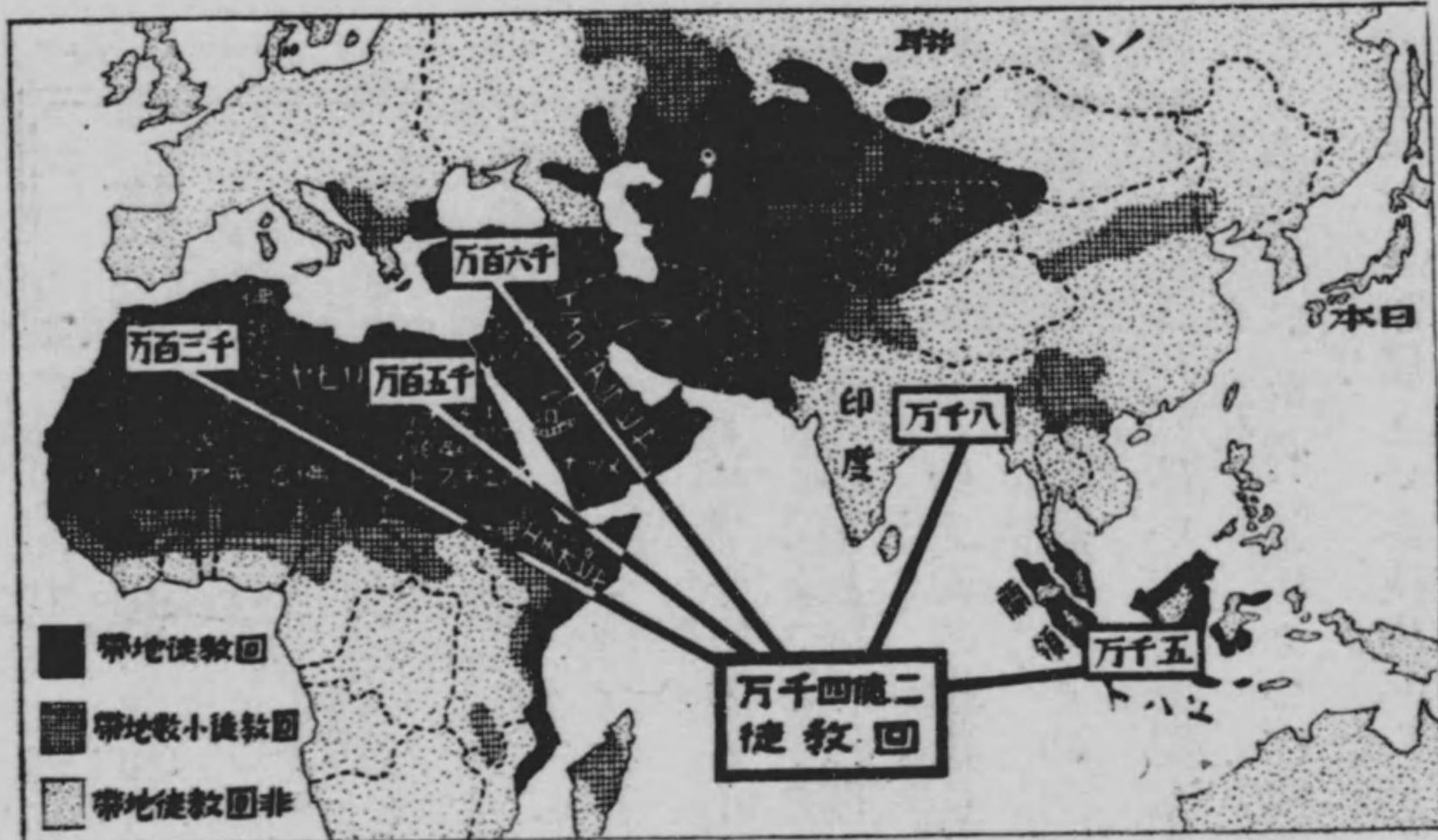
なる敵の航空機といへどもイギリス船の運行を攪亂することを許さない。一方地中海は現在では隨處に航空機の脅威により狭くなつた、イギリス艦隊にとり地中海の支配はマルタ島根據地よりこれを行ふよりも地中海の外部から行ふ方が容易になつた、スエズ運河はアレキサンドリヤよりもむしろアデンによつて支配されてゐる。またイタリーはいかなる世界市場においてもイギリス品の危険なる競争者ではない。事實イタリーは通常の状態においてはイギリスよりの大量の物資を消化し得、兩國間には通商上の對立はないのである。

さらにパレスチナ問題を見るに、この問題が終局においてイタリーをしてイギリスに對立させるかも知れぬと想像する人もあるが、しかし實際においては伊の尻押しで排英運動に躍つてゐるアラビヤ人の實力といふものは、餘程買ひ被られてゐる傾きがある。またアラビヤ人同士の結成してゐる諸國相互の間にも眞の意味の結合乃至提携は見られないのである。またイタリーがいかにアラビヤ人を支持しようとしても、イギリスもトルコといふ有力なる同盟國を持つてをり、このトルコはシリヤ、パレスチナ、イラクなどにおいてアラビヤ人が優位を占めるのを默視しては置かぬであらう。イギリス陸軍はパレスチナにおけるアラビヤ人の反亂を漸次鎮壓しつゝある。



世間にはあまり知られてゐないことではあるがユダヤ人部隊もすでに二萬人に達しこれは近代式に装備され戦時同地守備のイギリス軍がエジプトに引揚げるやうなことがあつても、イギリス軍に代つてパレスチナを防備し得るであらう。

眼をさらに轉じて紅海を見るに、もしイタリアがジブチにおいて確固たる勢力を築けば、それはイギリスの紅海支配を危殆に陥れるであらうといはれるが、しかしイギリスはアデンおよびペリム島を有し、紅海入口の鍵を保持してゐるのであるから、紅海の支配は安固である。かくて佛伊、英伊兩關係の分析の結果は地中海が當分波高くとも天氣晴朗であらうことを我々に示してゐる。これを要するに次の歐洲政局を判断するに當つて唯一の重要な根本問題は、英獨關係なることを記憶すべきである。歐洲の明日は實に英獨關係推移に依存し、これ以外の問題は實際等閑視しても危険ではあるまい。これが現在ロンドンにおいて一般に是認された観方である。



### 回教徒は何處へ行く

獨伊の進攻態勢が整ひ英、佛、ソ聯の躍起の獨伊包圍政策が行はれてゐる時、さらにその外部を包む回教徒の動向はますます興味を中心となつて來た。例へば今回のイラン皇太子殿下とエジプト皇妹殿下との御成婚さへ回教國エジプト勢力の同じ回教國イランへの侵入政略だといはれるくらゐである。

全世界に散布されてゐる回教徒は二億四千萬(全人口の一割二分)アラビアのメッカを中心としてトルコ(千六百萬) エジプト(千五百萬)リビア、佛領北アフリカ(千三百萬)イラク、パレスチナ、シリア、イラン、アフガニスタン、南露、インド(八千萬)蘭領東インド諸島(五千萬)支那など各地に散在してゐる。

残念ながらこの大部分が植民地または半植民地であり、完全な獨立國はトルコ一國といつてよいくらゐである。最もチュニリア、佛委任統治のシリア、英委任統治のパレスチナ、インド西北國境などの回教徒は政府の治政に不満で猛烈な反抗運動が行はれてゐる。最も激しいのはインド西北國境で絶えず戦闘行為が行はれてゐる。





英 國

バルカンを繞る

兩勢力の對立

【ロンドン】香月特派員

ドイツによるチェッコ解體とイタリーによるアルバニヤ占領の旋風は、バルカンの形勢を俄に重大ならしめ、その發展如何は明日の歐洲の動向を決する鍵となつた。ドイツがその軍事的並に經濟的餘裕からこの方面の進出を希求してゐたことは周知に屬するが、フンク經濟相の巡遊を契機にミュンヘン會議以來その活躍は特に顯著となつた。これがためこの方面における英の對獨經濟戰は尖鋭化しひいては英獨關係を一段と硬直せしめる形勢となつた。そこでこの方面を中心とする英獨通商會談によつて協調の途を發見せんと企圖されたが、その矢先ヒットラー獨總統のチェッコ解體といふ疾風の行動となつてこの計畫は根こそぎに覆された。しかしてこの嵐はル



香 月

ルーマニヤに對する最後通牒的經濟要求となつて現はれ、ドイツの東方武力侵略の脅威が想定せられ、バルカンを舞臺とする新たな歐洲の危機が展開されるにいたつた。

ルーマニヤに對するドイツの經濟要求は去る二十一日の兩國間の通商協定の成立となり、一應の結論に達し現在のところドイツの武力による東方進出の矛は收められてゐるかに見えるが、チェッコ合併を契機にチェンバレン首相によつて實現せしめんとした英の鎮撫政策は百八十度の轉換を餘儀なくせられた。その第一段として計畫されたのが對獨共同宣言でこれはドイツのバルカン武力侵略防止を目的とせるはいふまでもない。英はこの對獨十字軍に佛を従へ、今まで歐洲から閉出しを食はせてゐたソ聯に呼びかけ、更にポーランドを入れこの四國の合從連衡の下にバルカン諸國を引入れんとする筋書を書き運んでゐるのである。ソ聯はこれに逸早く賛成して來たが、ポーランドはその微妙なる國際關係により參加を欲せず、これがため豫定を變更して雙務的な英波相互援助協定となつて現はれたが、中途半端で英の企圖——従つて對獨包圍政策はその踏出しにおいてすでに難關に逢着した。ドイツ



の東方政策——換言すればバルカン支配の野望は一片の宣言で食ひ止められるものでなく、武力による進出を眞に食ひ止めるとせば共同宣言はこの參加國間の軍事同盟まで發展せしめなければならぬ性質を含んでゐる。イギリスはフランス、オランダおよびベルギー、スイスがドイツの銃劍の脅威の下に置かれた場合は、起つだけの決意をすでに固めてゐるやうであるが、バルカンに對してはその地理的條件によりかゝる決意があるか否か不明である。

ソ聯はイギリスのこの點の決意を探つてゐるやうであるが、もしイギリスにしてこの決意なくばたとひルーマニヤまで誘ひ入れてもドイツに對する壓力とはなるまい。元來イギリスの大陸に對する不干渉政策は傳統的なもので大陸諸國と深き關係を結びその義務を負ふことを好まぬ。しか一獨伊の攻勢に對しフランスとはすでに夫婦關係までになつたが、爾餘の國に對してはなほその傳統的不干渉の氣分が抜けてゐない。ギリシヤのある有力閣僚がイギリス新聞記者に對しイギリスのかゝる外交政策を評して、イギリスは恰もきまつた戀人を作らずに滿座の讚美者にキスだけを與へることを好む貴婦人のやうだと語つたといふことだが、全くその通りで、かういふことをするからついで來いといふ態度である。しかしこれでは強烈なる牽引力をもつて迫るド

イツからバルカン諸國を引き離し英佛陣營に引き入れることはおぼつかない。もしイギリスにして上記の貴婦人的態度に終始するならば、チエンパレン英首相も議會で述べたごとく今後ドイツの武力征服の可能性はあるといふことが現實の問題となつて來るであらう。しかしてイギリスの輿論は對獨政策については大戦以來かつて見ざるほど統一されてゐることは事實で、輿論はあらゆる力を動員してドイツの武力侵略を防止すべしとしてゐる。そのためには生半可な援助や不徹底な保障では効果を期待できず、全面的に乘出して反獨列強と連繫し、ドイツの東南方に軍事的背景を持つ政治的マジノ線を構成しなくてはならぬとしてゐる。従來の對獨政策を一擲したのもイギリスがこゝまでふみ込んで行くか否か現在はその氣分が十分うかゞはれるが、今後なほこの點に疑問なしとしない。

これについてはフランスが希望したといはれる徵兵制度採用にイギリスがなほ反對してゐるところを見れば、イギリスにその決意が出來てゐないのではなにかとフランスが疑問を持つのもつともである。これに反しドイツのバルカンへの進出はムソリーニ首相の後援によつて政治的に經濟的に強力なる組織をもつて行はれ、その勢力は浸透しつゝある。今までバルカン政策の障



碍となつたチエツコは合併によつて取除かれ、ドイツの東方への途は開鑿された。恐らくドイツはハンガリーをその藥籠中に收め一歩々々地固めをなし時機到れりとせば今回の如き疾風の行動をバルカンに起さぬとも限らぬ。ロンドンに集まる情報では今回のヒットラー總統の行動でバルカン諸國には反獨熱が高まつたと傳へられるが、バルカン諸國中ドイツの武力に僅ながらしても双向ひ得るものは一國たりともない。その最も軍備の優秀なるものはルーマニアといはれるがこれとて舊チエツコ軍の優秀さに比すれば三分の一の力しかないといはれ、しかも既にルーマニアは經濟的にドイツに譲りその石油資源はドイツの支配下に置かれんとしてゐる。西北部を舊オーストリアと接し北部をハンガリーと境するユーゴ・スラヴィヤは最もベルリン、ローマ樞軸の力に接近する可能性あり、ドイツはこゝにドイツ系のクロアト民族を組織してこの國のナチ化を計らんとしてゐる。爾餘の國のなかでトルコは相當反獨的といはれるが、これも含めブルガリヤ、ギリシヤいづれも日和見的で、問題にされるルーマニアがドイツの武力侵略を受けた場合、その背後から積極的に援助する可能性はない。かくしてこのまゝにしておけばダニユール溪谷に沿ひ黒海へと目指すドイツのバルカン政策はその武力的背景をもつて巨歩を進め得る條件にある

といはざるを得ない。イギリスは今までドイツのバルカン進出は地理的に見て自然の數といふ見解をとり、その合法的進出を黙過してゐた。しかし今回のやり方でその非を悟り面目にかけてもこれを防止せんとし包圍政策を企圖するに至つた。こゝにバルカンにおける英、獨の激しい對立があるが、その包圍政策は前述の如くこれらの國が武力の脅威を受けた場合、身をもつて救援するといふ全面的保障を與へねばこれら諸國をその傘下に集めることは困難であらう。それにはまたソ聯との關係を如何に規定するかといふ複雑且つ困難な問題もある。しかしてバルカン今後の形勢如何はムソリーニ伊首相の對佛要求とも關聯を持つものであるから、イギリスが果して強固なる包圍陣形を作り得るか、イギリスのバルカン政策の重點と從つて憚みとはこゝにかゝつてゐる。

【註】四月二十六日チエンパレン英首相は下院において徵兵制度實施の必要を力説、兩院とも採擇して成  
立した。



佛 國

佛の悩みは人口不足

マジノ線の死守戦略

【バ リ】渡邊特派員

フランス陸軍は、今まで本國兵力四十五萬、本國同様に取扱はれてゐる北アフリカの兵力十五萬合計六十萬であつた。最近のドイツ勃興に備へ本國兵を十萬増加することとなつた。フランスは一年兵役が原則であつたが、一九三五年よりは臨時二年兵役であり、來年四月には一年兵役に復歸せしめることになつてゐたところ、去る三月十四日の法令で二年兵役を原則となし、來年の春を目標として整備する計畫である。フランス國防の缺陷はドイツに比較して人口の少いことだ。全人口の一割が動員されるといふ原則より見て、ドイツ兵八百萬、フランス兵は半分の四百萬で、人口からいへば英佛合せて八百萬人がドイツの八百萬人と對抗するのである。



渡邊

ドイツ陸軍とフランス陸軍は専門家の定説において質では一對一である。ゆゑにその力は量で決定され、フランスはドイツの半分の力しかないわけである。フランス一國でドイツと戦争は出来ないものである。この重大缺陷を補はんとするところにフランスの作戦の苦心があり、政治も外交も悉くこの悩みから出發してゐるといひ得る。すなはち地中海を南北に本國と北アフリカとを繋ぐ交通路が生命線であるといふのも北アフリカの土民軍を輸送せねばならぬからである。各小國を連ねてドイツを包圍せんとするもの、ソ聯と手を握つてドイツを牽制せんとするもの、またイタリーに接近を計つたのも皆ドイツに對抗するため、人的資源の缺陷を補はんがためである。フランスがドイツと戦ふ場合イギリスが何日間にくらの兵力をフランスに送り得るかといふことを知らねば作戦の基礎が立たない。歐洲大戰において、後には無限の大兵を送つたイギリスも當初はたゞ四ヶ師團を送つたに過ぎぬ。英佛の軍事協議において何時も問題になるのはイギリスの大陸派遣兵力量であるが、いざ戦争とならねば徴兵制も布けぬイギリスに確實な約束が出来るわけではない。フランスとしても戦争になればイギリスが大兵



を送ることはイギリス自身のためであるゆゑ疑はぬが、それでは豫め計畫といふものは樹てられぬ。こゝにおいてマジノ線による作戦があるのだ。フランスに反対の素人の間にはマジノ線の効果について云々する向もあるが、第三國の専門家においてもこれを現在の兵器をもつては破ることは極めて困難だとの意見があり、また兵器が進歩すればマジノ線の防備もまたそれに應じて強化するのであるから、これによる時は寡兵よく大兵に當り得るのだ。但し當るといつても防禦するだけでそれを出て敵を攻めることは不可能である。フランス大演習は常にマジノ線によつて敵の攻撃の先鋒を挫くといふ訓練であり、第二線において休養補充しては交代に第一線に出て戦ふ練習である。フランスの作戦はマジノ線によつて半年でも一年でも敵を支へ豊富な物資を背景として持久戦をなし、英國その他の援軍の出揃ふのを待ち敵との勢力均衡した後敵の疲勞を見て初めて決戦に移らうといふのである。先づ支へて助けを待つといふことはフランスにとつては確實な作戦であるが、フランスの援助を得んとした小國が離反するものこの理由による。フランス陸軍の強味は軍隊教育を受け完全な訓練ある素質よき豫備兵を多く持つことである。ゆゑに作戦的能力から見て佛獨は均等だといはれ、ドイツはしばしば動員するがそれは未教育補充兵訓

練だとフランスでは見て比較的冷靜なのである。

フランスの兵役關係年限は二十八年間で一年分十五萬人であるが、第一線に向け得るのは二十年分の三百萬人であり、残りの八年分は第二次豫備役といふ老年兵で、これは主に消極的防空に向けるものである。土民兵は二百萬人を動員し得るが能力は勿論劣るのみならず、イタリヤに備へ北アフリカそのものを守備せねばならぬから、餘り期待出来ない。目下獨伊國境に備へるフランス兵は現役兵が三十萬人、召集された豫備兵が六十萬人合計九十萬人とする計畫である。

最近フランス國防の缺陷はピレネーにありといふ古いウエリントンの言葉は寧ろスペイン人の勇敢なことを語つたも境の危険を論ずるものがあるが、ウエリントンの言葉は寧ろスペイン人の勇敢なことを語つたもので、ピレネーの天険はアルプスに劣らず作戦的にフランスを攻撃するは容易の業ではないとされ、フランスでも最近五萬の兵數を向けてゐるだけだ。共和國において統帥權は相當難かしい問題であるが、この點は前の大戦に鑑みガムラン將軍が陸海空三軍を平時から指揮し、ジョルジュ將軍がいざといふ場合野戰軍參謀總長となり、十六名の軍事參議官が各軍司令官となる手筈はきめられてゐる。かくのごとくフランス陸軍は相當のものであるが、それに比較して空軍は人民戰



線時代の生産能力不振から整備能力が遅れてしまった。そこでとりあへず空のマジノ線ともいふべきグラデーエ線と呼ぶ防空計画を遂行し、昨年五月の第五次空軍計画を遂行、來年の春までには劣勢の空軍を建直さうとしてゐる。今年の七月以後は月二百臺の飛行機を造る能力を復活し、アメリカより六百臺以上の飛行機を購入、平時四千七百臺を備へ、第一線飛行機には何れも最新鋭機二千六百五十臺を持つことを努めてゐる。海軍はフランスとしては第二義的のもので、一九四三年春までには三十四萬トンの軍艦を新造することになつてゐるが、これは専ら地中海においてイタリイ海軍と對抗し北アフリカとの聯絡を保全しようとするものである。海軍については陸軍と異なりイギリスと完全なる諒解あるものごとく、北海、大西洋はイギリス海軍に一任する方針と見られる。要するにフランスの海軍の目標はイタリイ一國だけである。終りに國防費の數字を掲げる。三九年度經常國防豫算は陸軍七十七億フラン（一フランは邦貨十錢）海軍廿七億フラン、空軍廿三億フラン、植民地軍廿億フラン、合計百四十七億フランだがこのほかに赤字公債によるものが二百五十八億フランである。故に國防費合計は先づ四百億フラン（約四十億圓）と見て政府の普通および赤字を引つくるめた總支出九百四十六億フランの半分近くを占めてゐるわけだ。



### かる出らかこどは金

金本位制の價值が減殺した今日でも、いざこいへば金が國際通貨として羽振りを利用する。世界の形勢が怪しくなつてくるに各國とも今更のやうに金の増産に努める。

ところで世界の主要産金國はどうか、首位はいふまでもなく英帝國で世界總産額の三割五分を占める南阿聯邦を有し、カナダその他を合せて世界の五割六分に達する産金高だから豪氣なものだ。近年メキ／＼のし上げて來たソ聯が第二位、アメリカはこれに次ぎ、日本は第五位ながら量的にはお話にならない貧弱さだ。すなはち一九三五年の統計によると、主要國の産金高は左の通り。（單位千キログラム）

南阿聯邦三三五 ▲ソ聯一七〇 ▲カナダ一〇二 ▲アメリカ合衆國九八 ▲日本三〇（うち朝鮮一二） ▲濠洲二八 ▲英領南ローデシヤ二三 ▲メキシコ二一 ▲スイス一三 ▲ベルギー領コンゴ一三 ▲英領ゴールド・コースト一一 ▲コロンビヤ一〇 ▲印度一〇 ▲チリー九







# 全體主義の進出に 米、露骨なドル外交

【ニューヨーク】森 特派員

金の鍵——もし戦争に訴へることをしないで侵略國を壓迫し、國際秩序にいたる門を開く鍵といふものがありとすれば、それは黄金製の鍵であり、それは眞にアメリカの手に握られてゐる。世界の金準備二百六十億ドルのうちアメリカの保有高は百五十億ドル。この巨大な金準備に象徴されるアメリカの經濟機構が動員される時最後の勝利は「國際平和を愛好するもの」への側にある。少くともアメリカ人はさう考へてゐる。この考へを端的に表明したものは過般ブラジルの間に締結された一億二千萬ドルの經濟援助協定である。すなはちブラジル中央銀行へ金準備の提供、爲替資金の融通、輸出入クレヂットの設定などであつた。この場合經濟のほか政治的、



森

軍事的考慮が働いてゐたことは疑ひを容れない。これはほんの端緒であつてラテン・アメリカ諸國における「黄金政策」は今後さらに拍車をかけらるべき情勢にある。アメリカとしては有りあまる金の活用によつて一石數鳥を期待することが出来るからだ。焦げつき債權が回收されることはその金その實、米政府から出るにせよウォール街を満足させるに十分であり、貿易が進行すれば景氣政策としても悪くない。また外に對しても「善隣政策」の金看板が燦然たる光を放ち、全體主義の進出を阻止することも出来ようといふものである。しかし難點はアメリカがブラジルから買ふものが少いといふことだ。ブラジルにゴムを栽培させこれを買入れるといつてもいつのことやら分らない。とに角ブラジルは農産物をアメリカと競争して世界市場で賣らねばならぬ。この際全體主義國が「封鎖された爲替」ではなく「自由なる爲替」で支拂はねばブラジルは賣つてやらないと頑張るかどうか。これをやれといふことはアメリカとしてアメリカ經濟の痛である農業問題の他にブラジルの農業問題まで背負ひ込むことを意味する。



要するにアメリカの「黄金政策」は世界経済の流れを無理やりに動かさうとする強引政策である。それは比喩的にいへば「戦争によらざる」外交政策といふピラミッドの頂点であるが、その基部は種々の異つた形で現はれてゐる。しかしそれを分類すればアメリカ経済の役割は次の三つに歸着するであらう。

一、商品の供給者としての役割——ソ聯を含むデモクラシー諸國間に軍需品を供給する上においてアメリカは世界最大の工場であるが、戦争が勃發すれば食料品を配給する兵站部としても役立つであらう。國內的には軍需インフレーションはアメリカ景氣の不可欠なる支柱となつてゐる。目下議會に政府の支持を得て提案されてゐる中立法改正案はこの役割を合法的に認めんとするものである。對日飛行機輸出は事實上禁止されてゐるが、強硬論者は鐵、石油の禁輸案を運動してゐる。

二、商品の消費者としての役割——ハル國務長官の互惠通商條約主義は英米通商條約により最高潮に達した。之が世界市場再分割の戦争であり世界市場の三分の二を全體主義國に對して閉鎖せんとする意圖が基調をなしてゐることは明白である。チエツコ問題に關聯しドイツ品に對す

る二割五分の附加税はドイツの外貨資金獲得を困難ならしめ、再軍備に支障を與へんとする政策だが、日本に對しても支那におけるアメリカ商品の差別待遇を理由として報復關稅賦課運動が行はれてゐる。

三、資本の供給者としての役割——ドル外交の眞面目はこゝにあり、今日メキシコにおける金融的軋迫もこの一例である。この分野における中樞機關は輸出入銀行であるが、爲替平衡資金が通貨安定の名に隠れて事實上借款を與へることも可能である。支那に對する二千五百萬ドルのクレヂット、法幣援助などもさうであるが、アメリカ側の見るところでは日、滿、北支を一丸とする圓の負擔は非常に重いのみならず、圓の對英一シリング二ペンスに比較し法幣は八ペンスだから、現状が続けば情勢は圓にとつて不利であり、この點から見ても英米の對支援助の決心は今後強くなつても弱くなることはあるまいと見られる。

かくの如く歐洲および極東の最新情勢に對するドル外交の方向は既に決つてゐる。それを掣肘する唯一の勢力は嵐の中に揺ぐ傳統的孤立主義の陣營だけであるが、ドル外交の具體的方法是情勢が逼迫するにつれてまた全體主義の進出に對するアメリカの焦躁を反映してますます露骨かつ



積極的となつて来た。經濟戦争においてデモクラシーは必ず勝ち、そして軍備において勢力の均衡が得られるならば、世界の平和は維持されるといふのが彼等の希望半分の観測である。この段階にあつては個人の利益は國策の前に犠牲とされ、それに反して抜けがけの商賣をせんとする者があつてもホワイト・ハウス、國務省に睨まれてなにも出来ないといふのが實情である。今やアメリカは新大陸における「優位」確立からさらに進んでその優位を守るためライン河を東の國境とし、蘭領印度、マレー半島に至る線を「ゴム、錫の供給を確保する意味において」西の生命線と稱し、侵略に對する反撃陣營に協力する名のもとに参加してゐる。それでもなほアメリカ人はドル外交といふ言葉を嫌ふ。それは一八九〇年代から一九二〇年代に至るアメリカの帝國主義侵略……アメリカ人が非難する日本の大陸政策、或はダニュープ河に沿ふナチスの進軍より更に生々しい侵略の歴史を想起させるからであらうが、今日アメリカの「黄金政策」は外觀的にはより美しい、より巧妙な、しかし内容的にはより積極的なドル外交といへないだらうか。英佛のデモクラシーへの裏切りに憤激しデモクラシーの強化を欲するアメリカ人は、イギリス人の持たない率直さと誠意を持つてゐるが、事經濟に關する限り結局冷たい金が物をいふのであらう。

### バルカンの民族



「一民族一國家」はナチスの標語であり獨立國家の理想でもない。大戰後「民族自決」を表看板に國境線は引き直されたが、結局、列強の政治的野心に本づく再分割に過ぎなかつた。ルーマニアは七八〇萬の人口を忽ち倍加したが、ルーマニア人は全人口の僅か六割二分ばかりとなり、セルビア、クロアチア、スロバキア三民族を糾合して建國されたユーゴでは一四〇〇萬國民を牛耳るセルビア人は僅か四割、スロヴァキヤ人が一割弱、セルビア人と同族ながらこれと仲の悪いクロアチア人が三割三分も占めてをり、北部地方で一時は獨立を宣言するといふ有様である。ギリシヤは版圖擴大後トルコに一部奪回され、民族的にはギリシヤ人九割となつたがブルガリヤは領土を削減されてもなほブルガリヤ人四五〇萬に對しトルコ人六〇萬、スラヴ諸族一三萬を抱いてゐる。なほ地圖中の國境線は大戦前のもので、ウイーン、ブダペストを中心と形大な奥匈國、パカレスト周辺のルーマニア、ソフィヤを繞るブルガリヤのほかにベルグラード以南に瓢箪形のセルビヤ、その西方にモンテネグロ、アルバニア兩國が南北に連つてゐる。

### 時局地圖

- 1 (1) アルバニア人 (2) ブルガリヤ人 (3) ドイツ人 (4) ギリシヤ人 (5) イタリア人 (6) マジャール人 (7) ポーランド人 (8) ルーマニア人 (9) セルビア人・クロアチア人 (10) スロバキア人 (11) スロベニア人 (12) エツコ人 (13) トルコ人 (14) ウクライナ人



米 國

歐洲大戰の防止よりも

日獨伊の制壓熱に浮く

【ニューヨーク】伊藤特派員

最近のドイツ軍のブラーグ進軍以來アメリカのスローガンは「ヒットラーの進行」を食ひ止めようといふことにある。そしてそのスローガンにはドイツの侵略のみならず日本、イタリーの侵略主義を抑へつけろとの意味が含まれてゐる。これはアメリカ國民一般の現在の氣持であつてアメリカ國民は何ゆるナチ・ドイツが進撃を擴大するか、ムソリーニが地中海における覇權を望むか、日本が支那に對して軍事行動を繼續するかといふことについては全く諒解せず、また諒解しようとも思はず、日・獨・伊を一ブロックと見なし日・獨・伊が條約の神聖を冒瀆し侵略主義をもつてその國策とし暴力で國運の伸張を企てゝゐるものと推定し、今にしてこれを抑壓しなければ



伊藤 藤

ば世界の文明は昔の暗黒時代に還元し、民主主義は根こそぎ破壊され盡して世界人類の安全と幸福とは壊滅し去られるものと確信してゐる元來アメリカ人は子供のやうな簡単な氣持をもち、極めて感動的であつて彼らの國際問題に對する態度は「常に備へよ」および「一日一善をなせ」をモットーとするポイイスカウト、またはすべてのことを善と惡との二つに畫然と區別し、惡玉を抑へつけ、善玉を助けようとする日曜學校の生徒のそのれのこときものである。ルーズヴェルト大統領はポイイスカウトの團長、ハル國務長官は日曜學校の校長と見なされ、團長と校長とがあらゆる宣傳機關を動員し、しかも歐洲大戰當時には見られなかつたラヂオとトーキー・ニュースなどを極端に利用して子供のごとく率直で信じやすいアメリカ國民を指導したのだから、國際政治においてアメリカには大なる危險が存在する、歐洲では英佛ですら「ルーズヴェルト、ハル政權は歐洲の危機をアメリカに放送し過ぎる」と語り、獨伊は「ヨーロッパの戦争の火元はワシントンにある」と揶揄してゐるが、ルーズヴェルト、ハル政權は英・佛・ソ聯三國を援助して日・獨・伊三國を制壓せねばならぬと心の底から固く信じこれを



放送宣傳してゐる。

かれらの當面の問題はいかにして歐洲大戰の再發を防止すべきかにあらず、大戰の再發は不可避となしその前提のもとにいかにして日・獨・伊を制壓すべきかといふことにある。アメリカ空前の軍備擴充も、純粹な國防から離脱して進攻性を持つこととなり、アメリカの軍備は日・獨伊に對して南米諸國を確保するとともに、ヨーロッパにおいては獨・伊の出足を挫き、太平洋においては日本の活躍を抑へつける機關となりつゝある、アメリカはかくのごとく一方においては軍備を充實し、軍備によつて日獨を威嚇するとともに他方において經濟制裁手段をもつていはゆる全體主義諸國を抑壓せんとしてゐる、日本製品に對するいはゆる自發的な不買運動はほとんど失敗し、生糸においては殆どポイコットの影響なく、雜貨において幾らか不買運動が繼續されてゐるのみであるが、昨秋の日本への飛行機およびその部分品の供給拒絶は政府の警告の今日まで嚴重に勵行され、ドイツ品に對する從價二割五分のいはゆる懲罰關稅は近くいよく實施される。

日本の滿洲國及び支那の門戸閉鎖に對する報復行動として滿洲國および北支からの物資に對し

て差別的輸入税を課することになるであらうとの噂が一部に行はれてゐるほどである。また目下議會上院外交委員會で審議のピットマンの中立法修正案は本來の中立維持の目的から離れてこれをもつて英・佛・ソ聯側を援助する機關となすものと見られてゐるが、ピットマン法によれば宣戰布告を伴はざる支那事變にも中立法が適用され、これによつて日米關係が切迫し太平洋の空氣の改善のゆとりがなくなるやうな情勢を招來する危険が伏在するやうに觀測されてゐる。ピットマン法によればヨーロッパに戰亂突發の場合現金自國船主義の條項によつて英・佛・ソ聯側のみがアメリカの軍器彈藥およびその他必要品を豊富に輸入し得ることとなる、もし英・佛・ソ聯が現金拂を覺悟するならば戰債不拂國に對する信用の指定を拒絶するジョンソン法は實際において效力を生じないことになる。

アメリカ國民の對日反感は對獨反感よりも稀薄であつて日本側が挑戦せざる限りアメリカ側が日米戰爭の口火を切るものとは全然豫想されてゐないが、もし日本が來るべし第二の歐洲戰爭において獨伊側に投ずるならば自然に日米戰が誘發されるであらうことはいふまでもないと見られてゐる。記者は一九一七年のアメリカの聯合軍側參戰の前後アメリカに在留してゐたが、そのこ



ろのアメリカの空氣と現在のアメリカの空氣が非常に類似してゐることを認めざるを得ない。類似してゐるのみならず現在の方がその當時よりも多分に危険が存在し今回の場合は情勢がより複雑であるやうに見られる。すなはち一九一七年のアメリカ参戦當時の國際情勢にはイデオロギーが吹込まれてゐなかつた。アメリカはドイツの軍國主義を打倒するために参戦に傾きドイツ潜水艦の商船に對する無警告攻撃がアメリカの宣戰布告の決心を固めしめたにすぎなかつたが、ドイツ國民に對する憎惡の念は比較的稀薄であつた。しかるに今日のアメリカ國民のナチ・ドイツに對する憎惡は豫想外に激烈である。アメリカを英・佛・ソ聯側に誘はんとするイギリスの老巧なる外交と宣傳が一九一七年當時よりも巧妙に行はれてゐる今日では英米を引離して考へる者が少いやうであり、またイギリスはとにかく戦争をしたくないといふ希望があるので英米の戦争における協力を豫想しない傾向があるやうに傳へられてゐるが、これがいはゆる認識不足の甚だしきものであつてかくのごとく見るところに危険なる誤算が伏在する。

なほアメリカ國民の對獨反感はナチ・ドイツのユダヤ人迫害によつて拍車をかけられた感がある、ナチ・ドイツのユダヤ人迫害に對するアメリカ國民の反感は日本ではとても想像できないほ

ど激烈である。アメリカのユダヤ人及びユダヤ系を中心とする左傾分子の排獨運動は一九一七年當時は全然見られなかつたところである。そのアメリカ人排獨氣分は獨伊兩國と各種の協定を結んだ日本に自然向けられ、日本は豫想せざる損害を被つてゐる。日本はその政治組織上獨裁主義國になり得ないことをいかに説明してもアメリカ人は耳を傾けず、日本を獨伊兩國と同列に置いて日本にも壓力を加へようとしてゐるのである。日本の支那事變に對する大義名分をいかに根氣よく説明してもアメリカ國民は耳を傾けない。日・獨・伊共防協定の意義をいかに説明しても納得しない。

さらに第二の歐洲大戰が起る場合に、アメリカとしていかなる程度まで英・佛・ソ聯側を援助するであらうかといふことがアメリカの現在の話題であり、全世界の注目の焦點になつてゐる。アメリカ輿論研究所の報告によれば國際孤立主義が漸次確實に凋落し最近では英・佛・ソ聯側に全的に参加せんとするものが増加し戦争参加そのものを除外して英・佛・ソ聯側にあらゆる援助を與へんとする意見が全國民の六割以上を占めるにいたつた。またもし米獨戦はアメリカ一億三千万の人口のうち七百七十萬を占めるドイツ系が敗戦主義者としてアメリカの戰鬪行動をあら



ゆる手段で妨げ、かれらの手段は目にあまるものがあるであらうと説くものがある。しかし一九一七年當時アメリカに存在したドイツ系五百五十萬は何をなしてゐたか、鳴りをひそめて戦争終結の一日も早からんことを祈るに過ぎなかつたではないか。しかも今日のアメリカは一九一七年當時のアメリカではない、中央集權がよく行はれドイツ系米人のうちにはヒットラー總統に對して反感を持つものが少くない。したがつて七百七十萬のドイツ系、さらに四百五十萬のイタリヤ系が本國から見ても頼りにならぬと斷定することができよう。要するに目下のアメリカは國を擧げて排日・獨・伊、親英・佛・ソ聯熱に浮かされてゐる一種の熱病患者である。しかも擴大する軍備と豊富な物資と人的資源と餘裕とを有する熱病患者である。世界民主主義の旗持ちをもつて任じ世界の警察隊をもつて任ずるところの熱病患者である。

以上、朝日新聞海外特派員の特電による「世界危機の打診」は、本年四月二日から十二日まで本紙に連載されたもので、記事の内容も從つてその前後の情勢を傳へるものである。

### 第三篇

## 歐洲火線の源



# 地中海問題の鍵

英・伊

松田道一

歐洲の風雲頻りに動く昨今の有様を眺めて今さらの驚きを感じる人もあるが、事のこゝにいたるのを怪しむを要しない。現に私も既に以前に書いて置いたこともある位だが、事を率ゐるのは人であり、その人を得ざれば國際關係の悪化は不幸なる出来事として出現するの外はない。そこで歐洲近時の變態的情勢であるが、これは結局のところドイツの國力の目覚ましき回復に伴ひ、その戦前の地位の要求、すなはちナチス治下の第三ドイツ帝國は最早虐げられたる敗戦國に

はあらずして、大國の列に伍して後れをとらぬだけの立國の諸要素を具備せんとする要求が、その進行の途上において阻まれるがために、種々の交渉やいはゆる摩擦なるものに遭遇するのである。

他方においてイタリイもまた歐洲大戦後の困難なる經營より漸く脱出するを得た。

元來イタリイは大戦における戦勝國中の大立者でありながら、講和會議で思ふやうに行かず、また戦後の國歩の困難は内政上憂ふべきものがあつた。



筆者法學博士松田道一氏は東京府の出身、明治三十三年東大法律科を卒業後檢察事となつたが、三十五方方向轉換して外務省に入り、ベルギー在勤、外務省政務局第二課長、通商局長事務取扱條約局長を歴任して大正十四年特命全權公使としてオランダに赴任翌大正十五年より昭和五年までは大使としてイタリイに駐在した、當年六十四、現在宮内省御用掛を仰付けられまた外務省で條約關係を研究中。

▲その混亂に乗じて赤色の魔手はいたるところに擴げられたが、この危急存亡の秋に奮ひ起つて狂瀾を既倒し回したのが、ムソリーニ氏一派の率ゐる黒襪衣隊であつたことは、世人の記憶をいまだ去つてはをるまい。かの大正十一年すなはち一九二二年十月二十八日の「羅馬進軍」以來政權を掌握し、本年はその第十七年に達し去る三

月にはいよゝ組合組織による下院が初めて開會せられ、レジームの基礎もこゝに確立するの運





びに至つてゐる。

二

ドイツにおいてヒットラー氏がナチの一黨を率ゐて政權を掌握したのは昭和八年一月であつた。爾來一黨の政綱は着々とその緒につき、ヴェルサイユ條約中の不平等諸規定の改廢を強調して、遂に昭和十年三月同條約の軍事條項を一方的に廢棄するの聲明を發し、その翌年三月には同條約のライン規定廢棄の舉に出でたのである。爾來最近の發展として獨逸合邦やチエツコ保護制などの來歴は、讀者の記憶に新たなるところであらう。この第一次のドイツ聲明發出の昭和十年にイタリアにおいてはその翌年までにわたつてエチオピア事件が起つた。本來この事件はイタリアにとつては深い因縁のある問題なのだが、これがいよ／＼伊エ間の戰鬪行動となつて來ると、そこには聯盟との摩擦は起つて來るし、また場所柄としてアフリカにおける利害關係國間の問題も起つて來るといふわけで歐洲大小の國々のこの事件に對する去就が問題となつて來た。

ゆゑにこのエチオピア事件は歐洲諸國間の外交關係に一時期を畫したとも見うる。かの伊の

獨逸に對する結合はこのエチオピア問題に對する獨逸の不變の好意的態度に本づくもので、ム首相の命令にかゝる「ローマ・ベルリン樞軸」がそこに胚胎し、さうして爾來その結合はますます堅くなつてゐる。實はそれまでの伊、獨の關係は決して良好とはいへなかつた。かの一九三四年の兩雄ヴェネチヤ會見は意氣投合を見なかつたとも傳へられ、又同年埃宰相ドルフス博士暗殺一件の際には、ム首相はブレンネルに兵を集中してオーストリア支持の姿勢を示したのはローマ議定書（一九三四年三月伊埃協定の）の手前もあつたとしても、これによつて當時の伊獨關係を察するこゝとが出来る。だからエチオピア事件は單にエチオピアが究極においてイタリアに併合されたといふだけの簡單なものではない。

三

次にイタリアに關する重要な外交問題はスペイン内亂事件である。この事件は昭和十一年七月以來本年一月フランコ軍のバルセロナ入城によつて終熄を見るに至つたのであるが、この内亂が歐洲國際關係に關して大なる役割を働いてゐる。一時世上傳ふる所によるとイ



タリ義勇兵四萬、ドイツのは一萬位であるとのことであつたがこの内亂がスペイン外に波及して歐洲諸國間の抗争の目的とならざるやうにと、英佛の肝煎で、ロンドンに不干渉委員會が歐洲諸國を網羅して設立せられることになつた。

このスペイン問題は英伊外交關係の一張一弛に大なる關係を持つてゐるのであつて、目下世間の注視するイタリイ對アルバニヤ事件のごときも、地中海問題として、イギリスの一大關心事であることは論を俟たない。尤もアルバニヤがイタリイの権力下に置かれることはすでに聯盟盛んなるころにおいてさへ、英佛の黙認濟のものであつて、これをもつて大戦中のイタリイへの約束（ロンドン條約）不履行の埋合せとも考へられた觀もあつた。かの一九二六年のチラナ條約は表面アルバニヤの現状を保障してゐるが、アーメツド・ゾグが遂に國王の位に即いたのは、イタリイの保護の下に行はれた、だからアルバニヤ問題だけではさしたる問題にはならないはずである。

四

ところがこゝで重要なるはアルバニヤ問題よりも、ギリシヤ領たるコルク島をもイタリイが更



先のヨーロッパ大戦における海上の争覇戦は、主として北海において行はれ地中海はほとんど問題にならなかつた。それはドイツ海軍が地中海上にはほとんどその根據地を持たなかつたからだ。つぎのヨーロッパ大戦を英佛對獨伊間のそれと假定するならば、海上争覇の本舞臺は地中海に移り、そこで花々しい大海戦が行はれると豫想される。雙方の勢力均衡は到底いひ得ないとしても海の南北岸にイタリイおよび新しく獨伊の勢力圏に入つたスペインの軍港が點在して獨伊側に十分の策動根據地を供給してをり、獨は四月、五月にわたる演習でその實戦上の價値を見究めたであらう。その上スペイン革命の結果、ドイツの巨砲はスペインのマラガに据ゑられシラルタル要塞を陸上から脅威してゐる。地中海中央部においてはシシリイ、サルデニヤの兩島から飛石傳ひに佛領チュニシヤ(北アフリカ)に手をのばさうとしてゐるイタリヤが地中海を東西に分割し、イギリス海軍の聯絡を断たうとしてゐる。イギリスはこのため本國との聯絡をアフリカ横断の運輸路に求めてゐる。イギリスは目下約八十隻の軍艦をマルタおよび東地中海に集結することもトルコおよびギリシヤを自國の陣營に引寄せざるべく懸命の努力を拂つてをり、フランスは英の軍港シラルタルを拜借、こゝに廿隻の軍艦をならべてゐる。それもこの地中海上の新異變に備へるためである





に進んで占領しないかとの點である。すなはちそれは直に英伊の地中海問題となるのである。イギリス再開の下院の初日たる去る四月十三日チエンバレン首相はこの點を明かにしてゐる。これによるとコルフ島はイギリスが進んで行動せざる限り、イタリアもそこまで進まないとの意向が見える。

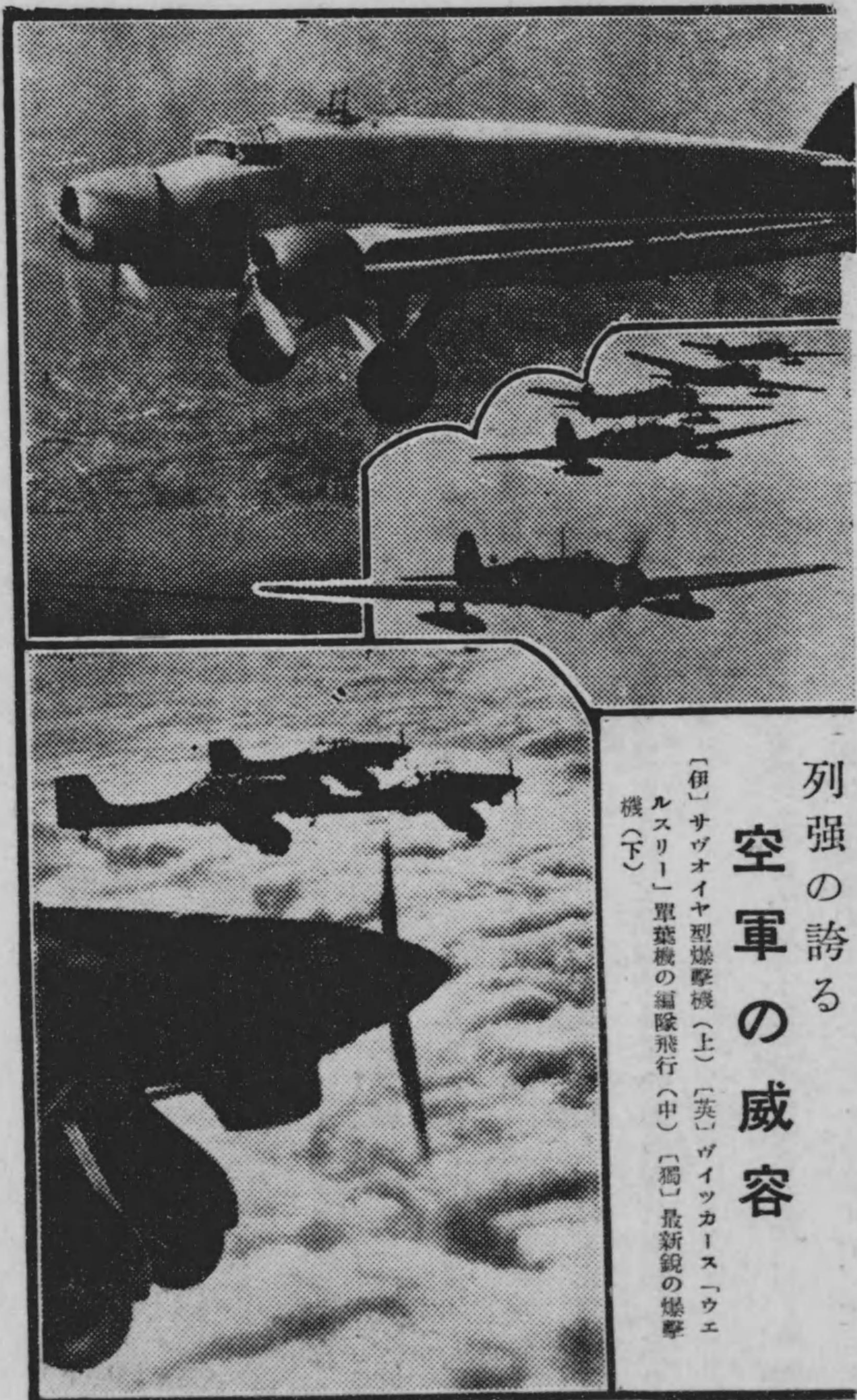
これと同時に在スペインイタリア義勇軍はフランコ將軍のマドリツド戦勝記念式終了とも撤回することに約束された。かくて英伊協定はイギリス政府においてなほ兩國間の關係調節の關鍵として認めてゐることが明かにせられた。イタリア外交の操縦自在なる點も窺はれる。

近來英國政府の急遽として畫策せる獨伊包圍陣なるものも、イタリアに關する限り、まだ幾多の交渉斷面はあり得る。況やチ首相の現實外交は時のイーデン外相と惜別し、ハリファツクス卿を後釜に据ゑた時に始まるのだが、この惜別は英伊問題がきつかけとなつてゐる。イーデン外相の辭職は昨年二月であつて、その後で英伊協定は幾多の曲折を経て出來上つた。それはイギリス側の寛容もあつたであらうが、兎に角英伊協定、換言すれば兩國間の外交關係の調節、殊に地中海問題の現状維持はチ首相の看板でさへあると認められるのである。尤もイーデン

氏一派の保守黨内における強硬派の主張も内政上閑却することは出來ない。殊にチ首相の旗色が對獨伊の關係において悪くなれば、それだけ強硬派は勢ひを得る譯合である。

今回のイギリスの大陸乗出しの決意は四月三日チ首相の下院演説にある通り、イギリスとしては實にその外交政策に新紀元を畫するものである。しかしそれがために英伊關係が直に悪化するとの結論にはなるまい。そこへ持つて來てルーズヴェルト大統領は、歐洲の危機打開策として、四月十四日對獨伊平和通牒を送つたことが發表された。これには無論アメリカ内にも反對論はあるだらう。しかしこれに對する獨伊をはじめ諸國の態度も、今後の國際情勢の觀察には大いに役立つところのものであらう。





列強の誇る  
空軍の威容

〔伊〕サヴォイヤ型爆撃機(上) 〔英〕ヴァッカーズ「ウェルズリー」單葉機の編隊飛行(中) 〔獨〕最新鋭の爆撃機(下)



【米】陸軍のマーチン爆撃機の編隊飛行

【佛】陸軍のフルマン重爆撃機  
【聯ソ】陸軍のTNAの六機重爆撃機





列強の誇る  
空軍の威容

〔伊〕サヴォイヤ型爆撃機（上）〔英〕ウィッカース「ウエ  
ルスリー」単葉機の編隊飛行（中）〔獨〕最新鋭の爆撃  
機（下）



【米】陸軍のマーチン爆撃機の編隊飛行

【佛】陸軍のフルマン重爆撃機  
【聯ソ】陸軍のTNAの六機重爆撃機



# 獨の目指す寶庫

バルカン

笠間 杲雄

チエツコ・スロヴァキヤの没落によつて、東ヨーロッパの政局は、正に急轉直下して一大不安に瀕して來た。ドイツの目標は、ハンガリーを與國として、ルテナヤからルーマニヤに進出し、いよ／＼ヒツトラの目標とする東歐の寶庫ウクライナを指さすであらうか。この寶庫に加へてルーマニヤの油田と穀物とが、ドイツ軍を養ひ、ナチス・ドイツの覇業が完成してほとんど歐洲に君臨することになるであらうか。しかし英佛ソ聯がそれを黙過するであらうか。風雲急なるバルカンの空は、いよ／＼暗雲に閉ざされて來る。

オーストリアと、チエツコを併呑したドイツは、軍需工業においての優越を獲得したが、食糧の點では却つて事態を悪化した。オーストリアは自國民の需要の七割五分しか生産せず、チエツ

コを併せてもその膨大した人口を養ふの望みはない。一旦緩急あればルーマニヤ、ウクライナの農産物を手に入れるのほかはない。今のところ時局の鍵は、ルーマニヤの向背にある。ルーマニヤの首相代理カリツネコは、いつも燻した色眼鏡をかけてゐるが、これはたま／＼國際政局におけるルーマニヤの地位を象徴するものでもある。

ルーマニヤは果して、アビシニヤ、オーストリア、チエツコ、アルバニヤの運命を辿りカール王は、第二のハイレ・セラシエとなる。

イクトリヤ女王の孫でもあり、聯合國に加擔して、大戦後の平和では、この國がバルカンで最も得をした。イギリスの左傾政治家たちは、カール王が、自由主義を彈壓して、獨裁を始めたのを



筆者笠間杲雄氏は富山縣出身、新渡戸門下の俳材、東大法科を四十二年に卒業、鐵道院書記を振出しに参事まで榮進したが、大正七年外務省に轉じ、十二年よりイタリー、トルコ、ルーマニヤ、フランスと海外生活を続け昭和四年には初代ベルシヤ公使となつてテヘランに赴任、昭和七年ポルトガルに赴任、在任五年にして歸朝した、法學博士、言語學者として著名である。



見て、そのロンドン來訪をもまた、皇太子のイギリス遊學にも反對してゐたがミュンヘン協定と共に、この反對は消えた。この協定が世界を揺り動かした中でも、ルーマニアほど大きなショックを受けたものはない。ドイツ最良であつた人達でもヒットラーが今にもルーマニアの國境に迫つて來るかと思つた。彼らはルーマニアの國防線がズデーテンの山中にあると考へてゐたからである。ブカレストの街ではカール王がルーマニアをソウエト軍に通過させて、ルテナヤに侵入する通路を、地圖の上に赤鉛筆で引つばつたとの噂が傳はつた。越えて、半年、ドイツの勢力はこの山を越えて、大戦當時フルケンハイン將軍の精銳が突破したルーマニア領トランシルヴァニアの境までは指顧の間に迫つてゐる。

ドイツの東方進出を遮る唯一の道は、ルーマニアにある。ドイツの東歐制覇はまづルーマニアに向ふのほかないのである。その石油と農産物を、ドイツの工業品とかへるのは、ドイツにとつて極めて自然な徑路でもある。ルーマニアの軍隊はカール王登位以來、着々改善はせられたが、未だに將校は華美な服装で、世にもみすばらしい時には裸足で歩く兵隊を率ゐてゐる。獨兵にも伊兵にも勝てさうもない。イタリアとは同じく、ローマ人の子孫と自稱してはゐるが、獨伊の樞

軸で、ルーマニアは今日ではイタリアを頼りにしない。ソウエトとの關係は、一起一伏、ベツサラビア併合を繞る宿怨はソ聯側でもやゝ薄らぎ、今日はむしろルーマニアは獨伊のトランシルヴァニアに對する脅威の方を一層恐れてゐる。たゞ、生れながらの政治家で外交家たるカール王は、恐らくドイツとソ聯の對立關係を巧にあやつり、ハンガリーの失地回復論者を宥め、ポーランド、ユーゴスラヴィヤとプロツクを作らうとし、シヤハト協定にも拘はらず、英佛がルーマニアの産物をドイツにも増して多量に買つて呉れる工作を進め、少しでもドイツに依存する程度を減らさうと試みてゐる。

いざ大戦となると、ポーランドがイギリスの援助で一方のおさへになるが、ユーゴスラヴィヤは必ずしも英佛の味方でない。といつて獨伊に近いともいへない。クロアト人こそその自治運動にイタリアの支持を受けてゐるが、自餘のセルビア・スロヴェーンはイタリアとの相剋に生々しい記憶を持つてゐる。大戦のときにドイツがバルカンを席卷したのは、ブルガリヤとトルコが味方であつたからだ。マツケンゼン軍はブルガリヤからダニューブ河を涉つてプロエシユテイを中心とする石油地帯を自由にした。石油はことごとくカルパテイア山脈の南、舊ルーマニア領に



在る。萬一ソ聯がルーマニヤの急に赴いたら、精銳なドイツ軍でも恐らくこの峻峻を易々と突破出来ぬだらう。

ブルガリヤにドブルジャの舊領回復を約し、その王妃のイタリー王女である點が獨伊のつけどころであらうが、近東で一番強い軍隊を持つトルコは現在では獨伊に好意を持つとは考へられない。従つてトルコの向背に多分に支配されるブルガリヤの進退は全く疑問である。舊ハンガリー領のトランシルヴァニアは獨、洪、羅の三人種の混住地で、ドイツ種のいはゆるザツクスは今でも十六世紀の古いドイツ語を喋つてゐる。この州の美しい町テイミシヨアラ（舊名テメスヴァル）ではこの三人種が人口の二割五分づつを占めてゐる。

ミュンヘン協定後カール王は急に少數民族を優待し出し、獨洪語の新聞を許したり、集會の自由を認めたり、本年二月の新内閣に六人までも大臣次官をトランシルヴァニア人から採つたり、ひたすら少數民族の御機嫌を伺つたが、効果のほどは疑はしい。

カール王の國民再興戦線はヒットラーを學んで、勞働組合などを包容する大組織を造り、勅選の理事者を置いてゐるが、人民はいつまでも「持てる國」の暢氣さで遊惰に流れ易い。所謂ラテ

ン人（實際はビザンツだが）の文化と精神とを誇つて、異人種を輕んじ國內のユダヤ人を侮るが、カール王の名高い愛人のルベスコ夫人はユダヤ種だ。恐らくドイツはカール王もドイツ嫌ひの中に數へてゐるだらう。英佛の軍備が充實し、アメリカの同情が徹底的にこれを支持したら、バルカン半島で獨伊に狙はれてゐる國と反對國との分野に勢力均衡が現はれて、これらの小國は救へるだらう。それまではルーマニヤをはじめ、風前の燈のやうな東歐諸國の外交政策は、たゞひたすらに事勿れ主義を信條として、懸命の努力を續けるだらう。これが一年も續いたら、これらの國の外交はこの上もない成功といふべきである。



# 廻廊で争ふ獨波

獨・波

松 島

肇

最近ドイツが東方進出政策の實現に邁進するにつれて、ダンチツヒおよびポーランド廻廊問題、殊にダンチツヒ自由市の問題が新に世人の注意をひくやうになつた。いはゆるポーランド廻廊なるものは歐洲大戰の末期に獨立復活したポーランド國に對し、海への通路を與ふるために、ヴェルサイユ講和會議の際ポーランドに割譲せられた細長い領土であつて、その突端にあるダンチツヒ市はバルチック海の波に洗はれてゐる。

この廻廊はドイツ本國とその領土たる東プロシヤとを兩斷するもので甚だ不自然な存在であるばかりでなく、その唯一の海港たるダンチツヒ市はドイツとの特殊關係とか、その住民の大多數がドイツ人であるとかいふ點を考慮してこれをポーランドの領土に編入することなく、特別自由市

として國際聯盟の監督の下に置きポーランドにはダンチツヒ港をある條件の下に使用する權利を與へたのである。この不自然なる領土分合の結果として、ポーランド側から見ればドイツの鐵道が自國領土を横切つて東西に走り、またダンチツヒ自由港を利用する權利はこれを享有するものゝダンチツヒ市の議會における議席の絶對多數および市行政權がドイツ人に掌握せられてゐる以上、税關の手續上、交通の聯絡上平時においても各種の不便を忍ばねばならない。殊に國家非常時においてしかりであることはいふまでもない。なほポーランド人の腦裡に、



筆者松島肇氏は長野縣の出身、明治四十年東大法科を卒業、外務省に入りロシヤ在勤を経て昭和二年ポーランド特命全權公使として赴任、在任、在勤五ヶ年のうち外務省歐米局長、イタリヤ大使を歴任、昭和十一年に退官、ポーランド通として聞えてゐる。

ゐるからあまりに潔癖に過ぎるときは問題の解決はできないのである。

▲は往昔ポーランド國が隆盛を極めてをつたころ、東プロシヤがポーランドに屬してをつたといふ記憶が今もつて來往するのである。しかしして今日においても東プロシヤには相當數のポーランド人が在住してゐるので、少數民族保證問題に關聯して紛議の種を包蔵して



他方これをドイツ側の見地に立つて觀察するときは、よしや獨立國ポーランドの生存の必要上これに海港を與へるためとはいへ、自國の領土を他國の領土により兩斷せられることは、東プロシヤが危険に曝されるの秋を考慮するとき、それが堪へ難き苦痛であるに違ひない。一國の領土は必ずしも地續きであるとは限られないといふ人があるかも知れないが、一度地續きであつたものが、切斷された場合と、はじめより離隔してをつた場合とは同日に論ずることはできないのである。

ポーランドは海への出口としてダンチツヒ港を使用するの權利を與へられてゐるのであるが、前述の通り各種の不便があるので完全に自國の自由になる港の必要を痛感し、こゝにダンチツヒからほど遠からぬグチニヤといふ一寒村に築港して兼軍港とした。この築港により商港としてダンチツヒの繁榮は一部グチニヤに奪はれた形となり、これもポーランドとダ港と反目の種となつたと思はれる。現在のポーランドは舊ロシア領、舊オーストリア領および舊ドイツ領の三部から構成せられてゐる。したがつてポーランド獨立の當初においては、政治的にも經濟的にもはたまた文化的にも統一を缺いてをつたことはもちろんである。これを交通の點からだけで見ても、

舊ロシア領における鐵道や道路は、モスコイとかペトログラードとかいふやうな帝政ロシアの中心地に向つて走り、舊ドイツ領の交通網は同様にドイツの經濟上および軍事上の必要に本づきドイツの中心目指して築造せられてをつた。舊奥國領の交通路またしかりである。したがつてこれら三國の交通系統をポーランドの需要に應ずるやうに處理するにはポーランド政府は多大の苦心を要したのである。すなはち前記グチニヤ港を築造しても、この港をして輸出入物資の吞吐港たらしめんがためには、ポーランド内地とこの港とを聯絡する鐵道の建設を必要とする。殊に舊ドイツ領の奥地において産出する石炭はポーランドの重要輸出品であるが、原産地とグチニヤ港とを直接に聯絡する鐵路がなかつたため、ポーランド政府は數年前外國からの借款により鐵道を建設し、同時にグチニヤにおいて石炭積荷の設備を完成した。

それにポーランド海軍はもとより強大といふを得ないが、グチニヤ港は同國唯一の軍港としてポーランド政府が重要視してゐるところである。したがつてポーランドとしては、すでに同軍港の完成したる今日、ダンチツヒ港がドイツに併合せらるゝことについては或は多くの未練を有するものでないかも知れないが、ポーランド廻廊を失ふことは同國唯一の商港および軍港の喪失を



意味するものであるから、たうていこれに應諾し能はざるものと思はれるのである。ダンチツヒ及びポーランド廻廊をドイツに譲る代りに、他の地方においてポーランドに海への出口を興へるならば、或は妥協の道もあるのではないかと思はれたが、その場合誰もの考へに浮び出るメーメル地方はつい先ごろドイツの領有するところとなつてしまつたので、問題解決の途は塞がれたやうに見受けられる。もつともメーメルをポーランドに與へて一時問題を解決したとしても、メーメル地方の住民の過半数はドイツ民族だから第二のダンチツヒ問題を惹起することとなるかも知れぬ。

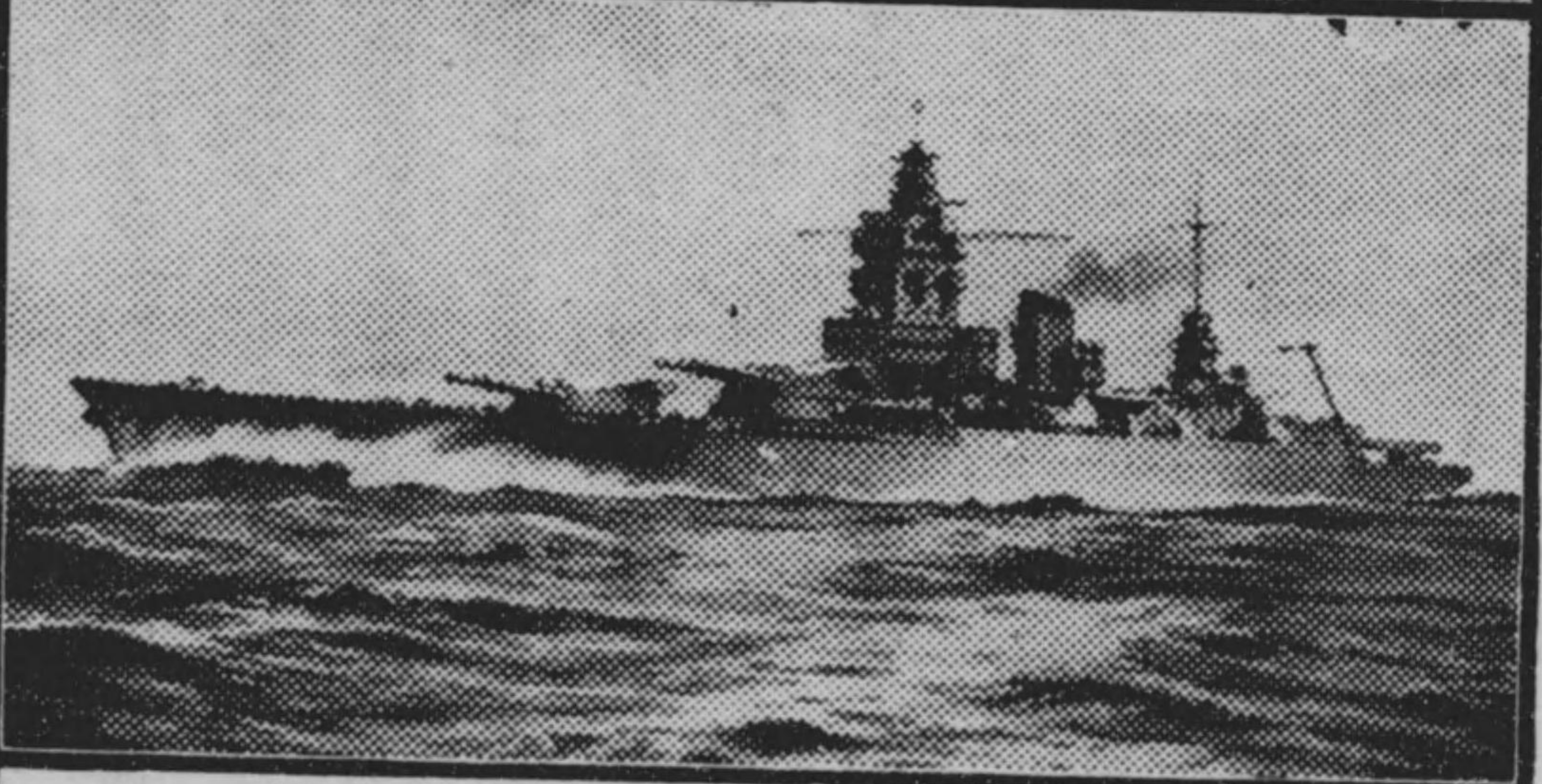
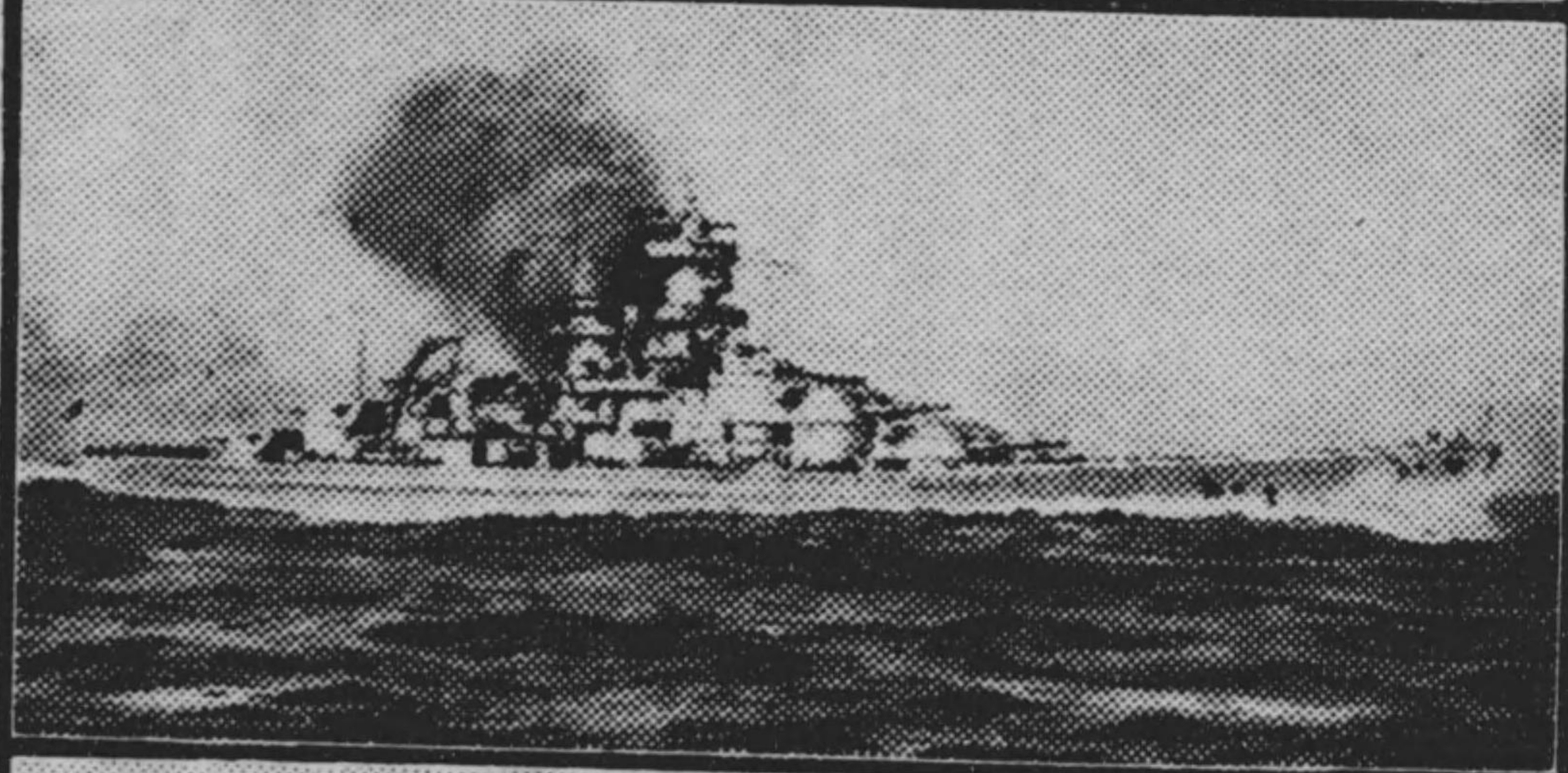
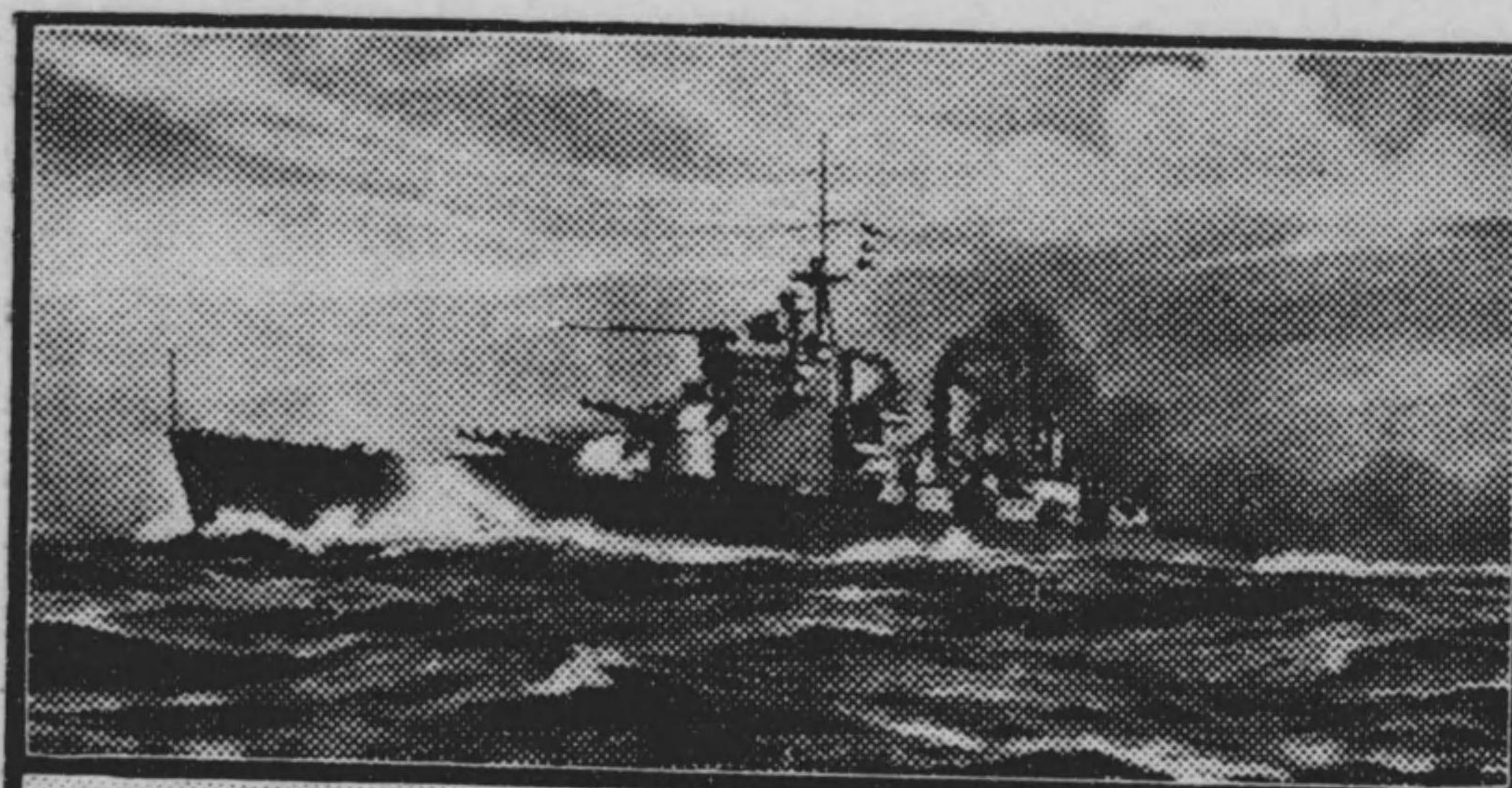
ポーランドは大戦直後、フランスと同盟關係に入り、ドイツ包圍陣の一角を受持つてをつたが東方の敵ソ聯との關係を顧慮してドイツとはかなり善隣關係を維持するやうに努力して來たが、フランスがソ聯を誘つて國際聯盟に加入せしめ、さらにこれと同盟關係を結ぶにいたつたため、ポーランドは對佛、對露、對獨の機微なる關係に苦惱したやうであつたが遂にドイツと十年間不可侵條約を締結して獨波關係は一まづ平穩無事なるを得たかに見えた。しかるに昨年以來のヒットラー總統の外交政策の活潑なる動きにより、ポーランドは新に危惧に襲はれて今や英、佛の對獨

包圍陣構成運動に加入せんとしつゝあるやに傳へらるゝが、これによつてポーランドがダンチツヒ自由市はともかく少くともいはゆるポーランド廻廊を確保し得るや否やは今後の形勢の推移に見るのほかはない。ドイツは最近ダンチツヒ、ポーランド廻廊およびポーランド領シレジヤ占領に對し待機の姿勢にありとさへ傳へらるゝ折柄、獨波の關係はいまや重大危機に直面してゐるものといはねばならない。十数日前に傳へられたドイツの要求(一)ダンチツヒの併合(二)廻廊横斷の軍用自動車専用道路の建設(三)在波ドイツ人の保護ぐらゐで獨波關係が調整せられるや否やは今となつては頗る疑問視せらるゝにいたつたやうである。

【註】 三月三十一日チエンパレン英首相は下院に於てポーランドと軍事協定の締結を聲明した。



第四篇 歐洲列強の戰略



る來代時噸千五萬三・爭競艦建

グンキ]の英らか上・艦力主新るあ、つぎ急を成完下目でし水運にです春今  
圖成完もれづい—[—ユリユシ]の佛[クルマスビ]の獨[世五ジ—ヨジ



## 歐洲列強の戰略

【ブラッセルにて】 ルールカン

## 佛のマジノ線

フランス陸軍の長老故フオツシュ元帥が、かつてバリ陸軍大學で教鞭をとつてゐた際、聽講中の將校連に對して、戰術を論じ軍事的問題を解明する前にまづいかなる方策をとるべきかといふことを研究し、大綱を決定することが先決問題である。と講義したことがあるが、現在西歐においてもし紛争が起つた場合、ベルリン・ローマ樞軸はいかなる方策をとるであらうか？ それは一言にしていへば「即戦即決主義」をとるであらうといひ得る。なんとすれば獨伊樞軸は兵力において優越なることは議論の餘地なく、航空機の數においてもまた工業的準備においても優越を

保持してゐるから、英佛側到大打撃を與へることが可能である。しかし財政的、經濟的に見ると英國側よりも劣勢にあり、かつ兵站補給にせひとも必要な制海權を確保してゐないため長期戦は不利である。しかし陸軍の即戦即決といふことは極めて困難なことに屬する。何となればこれのために軍事行動の神速奇襲を必要とするが、この神速奇襲は防禦軍の卓越せる集中砲火を浴びかつ嚴重に武装された要塞線のため著るしくその進撃を阻まれる恐れがあるからである。歐洲大戰は防禦軍が巧に組織され掩護されてゐるならばその射撃効果は極めて優秀であることを實證してゐるが、西部戦線においてはこの掩護され組織された射撃線が二本對立して横たはつてゐる。佛のマジノ線と獨のジークフリード線である。

マジノ要塞線の鐵壁はあたかも國境の窪地に軍艦を横たへた如くその壁から噴き出す砲火は軍艦の舷側から放たれる砲火のごとく恐るべき威力を備へてゐる。そして四十キロの幅をもつて蜿蜒として續くこのマジノ線は三つの要塞線から成り立つてゐる。

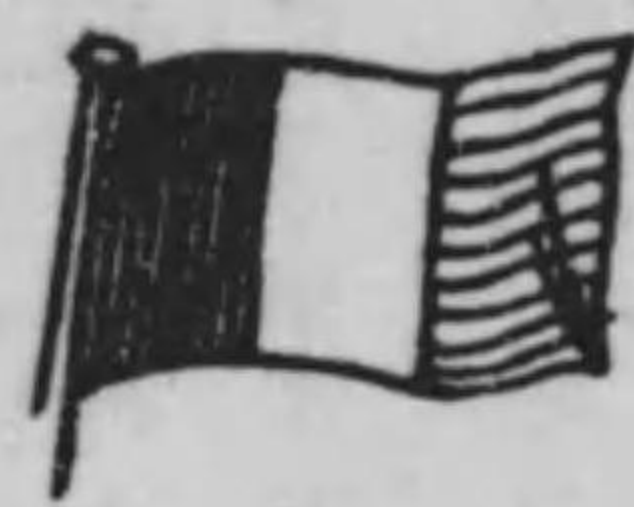
第一線には百餘の框舎（大きなトーチカ）がありこれは日夜武装兵によつて守られた城砦、換言すれば特殊な武装を施された軍隊である。またこの框舎は水雷艇のやうな役割をもつてをり



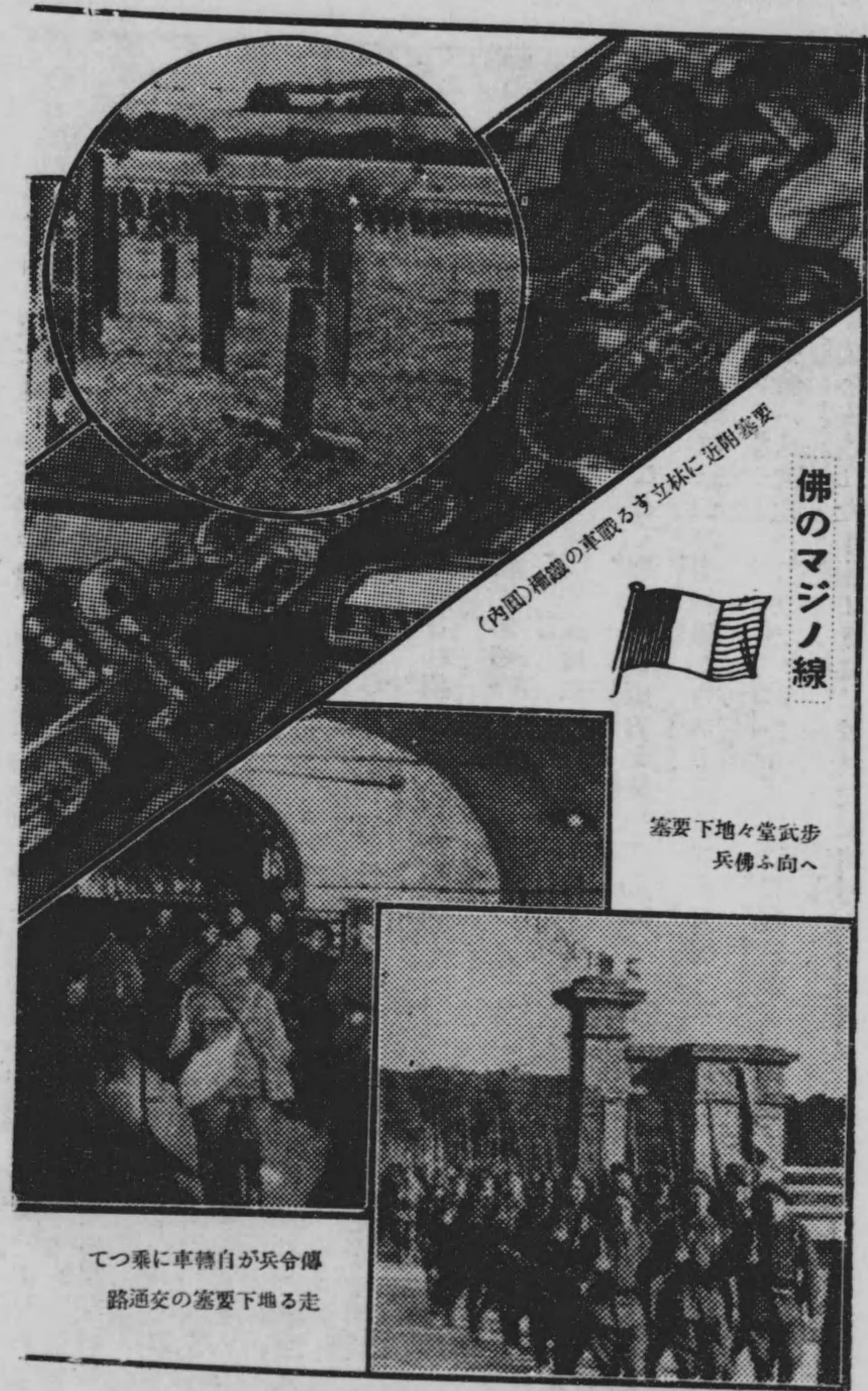
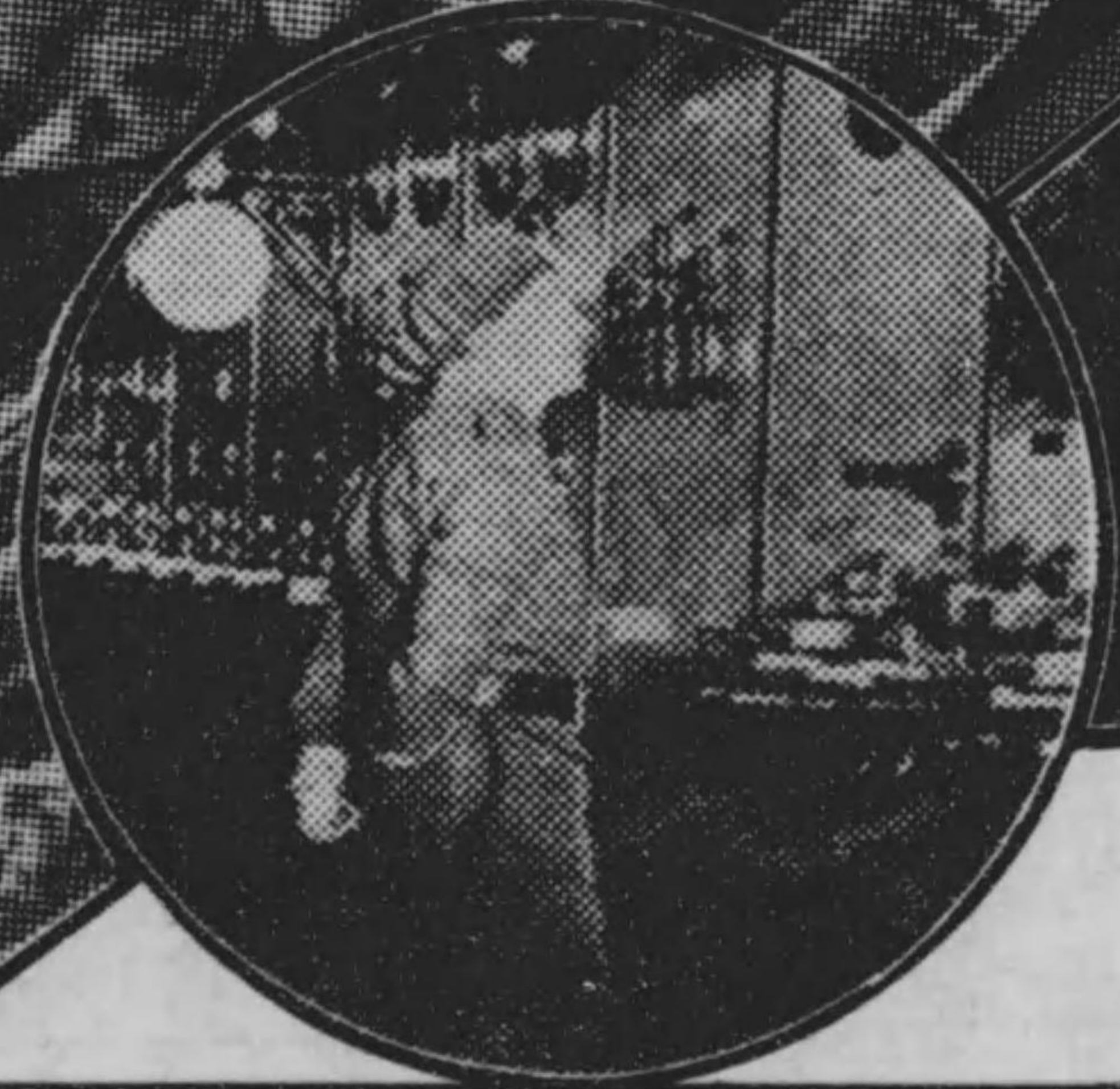


士兵く就に卓食の塞要下地  
るるてい附、づ本一が酒葡萄酒

哨歩つ立に下庭の塞要下地

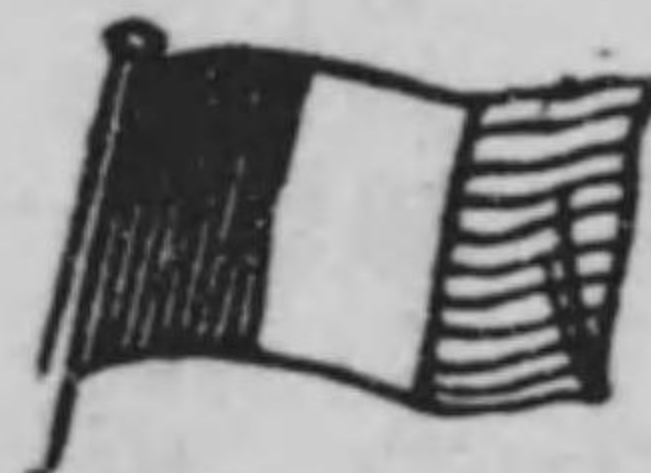


は(内圓)圖取見のナイラ・ノジマ  
盤電配大のめたの氣換・明照・力動



(内圓)圖取見のナイラ・ノジマ  
盤電配大のめたの氣換・明照・力動

佛のマジノ線



塞要下地々堂武歩  
兵佛ふ向へ

てつ乘に車轉自が兵令傳  
路通交の塞要下地る走







行動を鈍らせるために約三百の自働的破壊作用をもつた装置が秘められてをり、幅二十キロにわたり地物を利用して掩蔽され防禦に最適の状況にある。そしてベルギーの心臓部は城壁とアルペール運河によつて護られ塹壕はまた頗る幅が広い。

### 獨のジークフリート線

ドイツのジークフリート要塞線は、フランスのマジノ要塞線がドイツ軍の進撃を阻むと同様に英佛軍の行動を阻むことを目的としたもので、リエージュの東方を基點とし、ミユールズの東方にいたる獨佛國境線に沿つて構築されてゐるが、これは單なる要塞に止まらず、幅五十キロ乃至七十キロにわたる對戰軍防禦施設を持つた眞の戰鬪地區である。マジノ線に比してその防禦効果は劣るといはれるが、圓天井の下に隠された重砲の威力は卓抜なものあり、殊に地下の裝備は秀れ敵軍が侵入して來た場合、氣象條件の如何に拘らず忽ち猛毒ガスの海と化し侵入軍は瞬時にして天國へ旅立つ結果となるであらう。ジークフリート線は恐るべき軍隊であり、かつ特殊の技能を持つ部隊とも稱すべきであらう。

ドイツの要塞線はマジノ線に比し短期間に工事されたため見劣りはするが、この線の突破には莫大なる犠牲なくしては不可能でありフランスの如き兵力不足の軍隊にとつてはまづ不可能と見るよりほかはない。マジノ線を避けてこれを迂回せんとする場合にはスイスおよびオランダを侵犯しなければならぬ。しかし中立國スイスの侵犯は國際的に見て極めてデリケートな關係にあり、戰野をこゝまで擴大することは多大の制肘を受けるので躊躇せざるを得ない。

オランダはその軍隊弱小であり、防禦組織も缺如してゐるので、その攻略は易々たるものである、動力化部隊の進駐は可能であり、オランダは直に占領されるだらうが、これはマジノ線包圍の態勢を示すものとしてフランス側を脅威する効果がある。この軍事行動はフランス軍およびベルギー軍を釘づけにし獨軍はその大部隊をポランダ國境に集中することができる。先般締結された英波相互援助條約によればドイツは英波兩國を敵とせねばならず、東西兩戰線において戦ふ必要があり、かつ消極的ではあつてもソ聯の敵對行為が豫想される、ソ聯から直接ドイツ領土を攻撃する道路はないが、この直接道路の缺如はドイツがソ聯を攻撃する場合にも同様甚だ恵まれぬ状態に導いてゐる。ソ聯はポランダに對してその軍隊を強化するため極めて重要な工業的援助





所面洗士兵の塞要下地

砲車戦対らか地陣下地  
す出引を



イラ・トーリフクージの中塞備に幹河シイラ  
室銃機長たれきユジーラムカ(内風)のン



(内風)隊銃機長るす動移を遺坑てし露分を銃機機



獨のジークフリート線

ん並に形の齒い白  
を車戦るた戦銃た  
設施塞防む阻

隊銃機長くつに置位



を興へるであらう。かくのごとく西部戦線においては陸軍が早急に勝敗を決することは不可能であるからフランスは何はさておきまづイギリスに對して空軍の來援を求めねばならない。

陸軍勢力比較 (一九三八年末現在)

◇ドイツ		◇イギリス	
正規軍 一、〇〇〇、〇〇〇人	自動車化師團 三	正規軍 一四、一八一人	南阿聯邦 三、〇〇〇人
軍隊類似 一、〇〇〇、〇〇〇人	輕快師團 二	インド駐屯軍 五、八〇六人	アイルランド 六、三〇〇人
歩兵師團 四三	アルプス旅團 四	地方軍 三三、八九九人	計 三四七、三〇〇人
機械化師團 五	植民地兵力	計 四四、八九九人	◇フランス
騎兵旅團 一	リビヤ 約四〇、〇〇〇人	植民地兵力	平時兵力
山地旅團 三	エリトリア 四、〇〇〇人	カナダ 一〇六、〇〇〇人	在本國 四八、〇〇〇人
◇イタリ	ソマリランド 四、〇〇〇人	濠洲 三、〇〇〇人	在北阿 一四六、〇〇〇人
本國軍 五五、〇〇〇人	その他 三、〇〇〇人	インド 一六、〇〇〇人	在植民地及び支那 六〇、〇〇〇人
歩兵師團 二九	計 五〇、〇〇〇人	ニュージブランド 一三、〇〇〇人	計 六五〇、〇〇〇人

そして英佛聯合軍はドイツの反撃に對して援けあはねばならぬ。この場合オランダはドイツのために優秀な軍事的基地と化すであらう。すなはち潜水艦の攻撃基地として、また空軍根

據地として使用されるものと信ぜられる。しかして空軍の勝敗を決するためには防空施設の完備した國を攻撃せねばならず、ドイツ空軍がいかに優秀な爆撃能力を保持してゐても英空軍は多分に強靱な防禦力を持つてをり、勝敗の歸結は容易に決し得ない状態である。英佛は戦争勃發の當初より空陸兩方面より強烈極まりなき猛攻撃を受けるであらう。それは殆ど致命傷とも稱すべき打撃に違ひないが、しかもこれによつて直ちに勝敗を決するかといふと、これぐらゐではまだまだ不十分なのである。

勝敗を決する制海權

獨伊樞軸が英佛側を向ふに廻して戦ふ場合、その勝敗を決するには舞臺を他に求めて活躍しなければならぬ。戦史を緝けば勝敗の鍵は間接的攻撃にあることを教へてゐる。たとへばスペインの野にナポレオンを打破る動因を作つたウエリントンのごとく、またサロニカ會戦によつて歐洲大戦におけるミュンヘン進撃態勢を有利に導き、遂にドイツをして降伏するの餘儀なきにいたらしめたことなどを引例することができよう。



獨伊樞軸は英佛側に比し戦闘力優れ命令の單一化は嚴重に實施され、常に國外戦線において行動する建前をとつてゐる。まづ最初の行動は恐らくルーマニヤにおいて起されるであらう。ルーマニヤは石油の湧出豊富でありかつ小麥も豊饒で、獨伊の欲する必要資源に富んでゐるからである。第二次の行動地域はアフリカであらう、アフリカは軍事行動には恵まれた地であり、イタリはこゝに陸、海、空軍の優秀な基地を持つてゐる、かつてドイツの名將ルーデンドルフ將軍は、「將來紛争が起つた場合、北アフリカの争奪はバランスを破る重要地點となるだらう」と豫言したが、この豫言は今や現實性を帯びて登場して來た。アフリカは英佛兩國の勢力が瀰漫してゐるが、これらの背後にあつて政治的攪亂を畫策することは可能である。北アフリカは涯なき斜面の連続であるが、そこが今や戰場と化するかも知れないのである。しかして北アフリカにおいてはヨーロッパにおける戦争の場合と異なり、戦争の邪魔物となるところの多數の非戦闘員や禁止物件は殆どなく、端的に本職の戦闘員同士の戦争であり、軍隊と軍隊のみの戦闘が展開されるのである。したがつて北アフリカの戦争においてはヨーロッパの場合よりも戦争の展開が遙に活潑となり敵味方ともその實力なり作戦なり技術なりの優劣が直接勝敗の歸趨にものをいふ結

果、即戦即決を希望する獨伊側に有利であり、持久戦に期待する英佛の立場は不利なるを免れないのである。

これらの事情を考へ、かつ最近の獨伊の南歐及び地中海方面への動向を見ると、イタリとしてはドイツの支援と協力のもとに恐らく戦争をアフリカの天地に展開せしめることに秘策を盡すであらう。かくしてもイタリがアフリカへ移動を開始したならば英佛も直にこれに倣はざるを得なくなるであらう。イタリはかくしてその昔執政官スキピオが大敵ハンニバルに打勝つためにアフリカに大軍を輸送した故事に倣ひ、それを再現しローマを戦禍より遠ざけんとするであらう。スキピオ時代より廿二世紀を経た今日運命は再び廻り來つてスペインおよびアフリカの情勢がイタリーの運命を左右する時代となつて來た。しかもなほアフリカにおける勝敗は少くとも北アフリカにおけるだけでもなか／＼容易には決しないものと見られる。それは非常に良質なフランス植民地軍が伊領リビヤ國境に近いチュニジヤのマレト附近に構築された要塞線に集結してゐるからである。この要塞戦はマジノに倣して作られたもので別名「沙漠のマジノ線」と呼ばれ、峻峻な山脈が海岸へ迫るその隘路を扼して作られた堅固な要塞線である。これに加ふるに







時と豫想せねばなるまい。これを要するに戦争勃発の場合勝敗の鍵は結局制海権の歸趨にかゝつてゐるものと思はれるが、歐洲に紛争發生の場合日本の持つ役割は極めて重大である。日本の強大な海軍力はたゞにアメリカの干渉に對して有力な影響力を持つのみでなく極東における搖ぎなき地歩を確保してをり、勝敗の最後の鍵を握るものと稱してよい。しかしながら戦争はその勝敗の結果如何にかゝはらず、西歐をして救ふべからざる衰頽への一路を辿らしめるであらう。

海軍勢力比較

◇ドイツ(一九三九年一月現在、建造中のものは加へず)		◇イタリー(一九三九年一月現在、建造中のものは加へず)		◇イギリス(一九三八年末現在、建造中のものは加へず)		◇フランス(一九三九年現在、建造中のものは加へず)	
主力艦	五	主力艦	六	主力艦	一五	主力艦	七
巡洋艦	六	巡洋艦	二三	航空母艦	六	航空母艦	一
驅逐艦	一九	驅逐艦	二二六	甲級巡洋艦	二五	甲乙級巡洋艦計	一九
潜水艦	三六	潜水艦	九四	乙級巡洋艦	四五	驅逐艦	七二
				驅逐艦	一六四	潜水艦	七七
				潜水艦	五四		

歐洲風雲日誌抄

三月

【十四日】 スロヴァキヤ獨立を宣言す ▲ドイツ軍チエツコ國內へ入る ▲ハンガリー軍ルテナヤ國境を突破す ▲ヒ總統とチエツコ大統領ハーハ氏との會談の結果、ドイツはチエツコ(ボヘミア、モラヴィヤ)を合併する旨の協定に到達、調印を了し、ヒ總統プラーグへ入る ▲ルテナヤ獨立を宣言す。【十六日】 ボヘミア、モラヴィヤに對するヒ總統の布告をプラーグにおいてリツベントロツプ外相がラヂオで

發表、合併を宣言す ▲ハンガリー軍ルテナヤの首都ブストを占領 ▲スロヴァキヤもドイツの保護下に入る。【十七日】 パレスチナ會議決裂す。【十八日】 ドイツのチエツコ合併に關し英佛政府は各々ドイツに抗議を發す【十九日】 ドイツのチエツコ合併に關しソ聯も抗議を發す ▲佛の軍需全權案、下院を通過す。【二十日】 ドイツのチエツコ併合に關し、英政府臨時閣議を開いて對策を練る ▲米中立法改正ヒットマン氏案上院に提出さる

【二十一日】 リトアニアは經濟的保障を條件にドイツに割讓。【二十二日】 對獨問題に關し、英下院において非公式英佛會談行はる ▲獨羅通商協定調印さる【二十三日】 イタリヤのフアシスト組合議會第一回開院式舉行。【二十六日】 ファツシヨ團結二十周年記念祝賀會はローマのムソリーニ廣場で行はる。【二十八日】 マドリッド途にフランコ軍の手に歸す。【二十九日】 佛、ルーマニヤの間に新通商協定締結さる。【三十一日】 チェンバレン英首相は下院においてポーランドと軍事的協定を締結する旨聲明す ▲ムソリーニ伊首相對佛強硬演説をなす。



四月

【一日】 ヒットラー獨總統は三十一日のチエンパレン英首相のポーランド援助聲明に對抗して演説を試み英國を痛駭す【二日】日ソ漁業協定妥協を見、東郷大使はリトヴィノフ外務人民委員間に署名を了す。【四日】 イタリー、アルバニヤへ派兵▲イラクに反英騒擾起る。【五日】 英波軍事協定成る▲イタリー參謀總長バリリアニ將軍ベルリンを訪問しドイツ軍首腦と重大協議▲佛大統領ルブラン氏再選さる。【六日】 ムソリーニ伊首相は自ら爆撃機を操縦してエヂプトに

向ふ▲イタリヤ政府はアルバニヤ問題に關してコンミニケを發表す▲フランコ政府防共協定正式参加發表▲アルバニヤのゾーグ國王蒙塵。【八日】 伊軍アルバニヤの首都チラナに入城▲英軍コルフ島に上陸。【九日】 伊軍ユーゴ國境へ迫る。【十日】 政府はイタリヤのアルバニヤ制壓に従ふ地中海問題に關し緊急閣議を開く。【十一日】 英佛聯合艦隊コルフ島に集結▲ル米大統領は記者團との會見において歐洲大戦起らば英佛側に參戰の旨公言す▲ハンガリー國際聯盟脱退。【十二日】 アルバニヤ新政府成り、王位をイタリヤ

へ献上。【十三日】 チエンパレン英首相は下院において獨伊のバルカン進出に對抗の決意を表明。【十四日】 ルーズヴェルト米大統領ヒットラー獨總統並びにムソリーニ伊首相に對し平和要望のメッセージを電送す▲ポーランド壯丁を召集し、獨波國境緊張す▲イギリス、ソ聯引入れに狂奔。【十七日】 リベリヤ政府英佛の保護要請▲ルーマニヤ外相ガフエンコ氏獨羅關係問題のためベルリン訪問。【十九日】 英國軍需省の設置、閣議で決定▲ルーマニヤ外相ガフエンコ氏はベルリン着後、ヒットラー總統その他と會談、獨伊包圍陣に

不参加を誓約す▲チエンパレン英首相は民主主義を極東へも擴張の旨言明す。【二十二日】 イラン國皇太子殿下御成婚の式典始まる▲ベネチヤでチアノ伊外相とユーゴー外相マルコヴィッチ氏と會談始まる▲ドイツのルフト・ハンザ航空會社訪日親善機がブレンツ機ベルリン出發。【二十三日】 ベネチヤにおけるチアノ、マルコヴィッチ伊ユ兩外相の會談の成果につき兩氏の名で共同コンミニケを發表す【二十五日】 ユーゴー外相マルコヴィッチ氏ベルリン訪問、獨ユ會議開始。【二十六日】 チエンパレン英首相下院において徵

兵制度實施の必要を力説、兩院とも採擇して成立す。【二十八日】 ヒットラー獨總統は國會において外交に關して堂々内外に獅子吼す。【二十九日】 ドイツ陸軍總司令フオン・ブラウヒッチ將軍ローマ訪問▲ハンガリー首相テレキー伯とチャーキー外相はヒットラー總統と會見、獨外交支持を表明。

五月

【三日】 リトヴィノフ・ソ聯外務人民委員辭職す。【五日】 ポーランド外相ベック氏は下院において外交演説を行ひ、特にダンチツヒ問題をめぐる獨・波關係につき強硬態度を表明す。【六日】 リツメントロップ獨、チアノ伊兩外相はミラノにて獨伊會談を開始す。▲英・土間に援助協定成る。【七日】 ポーランド政府は下院に對し、各部門にわたる廣汎な全權委任を要求し、ウクライナ人を含む委員會はこれを可決した。【九日】 ノルウエ、スエーデン、デンマーク、フィンランドの北歐四國外相は、ストックホルムにおける會談の結果、ヨーロッパの紛亂に中立的政策をさることに意見の一致を見た。



昭和十四年五月十七日印刷  
昭和十四年五月二十二日發行

「火線上の歐洲」  
(定價參拾錢)

不許複製

發行者  
兼編輯者

大阪市北區中之島三丁目三番地  
株式會社 朝日新聞社  
樋口正

德

印刷者

大阪市淀區芦原町一八八ノ五  
日本印刷製本株式會社  
堀越

幸

發行所

大阪市北區中之島  
三丁目三番地

株式會社

朝日新聞社



703  
18



